

令和 7 年版

消 防 年 報



令和 8 年刊行

福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び令和7年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

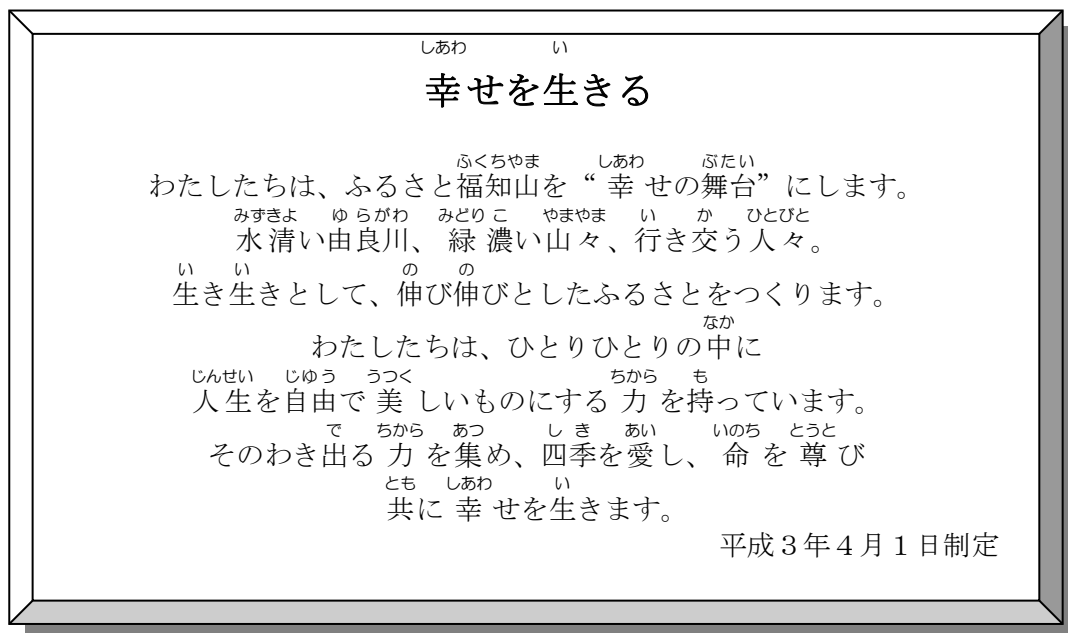
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

令和8年7月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市 民 憲 章 と は

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲 章 文 の 解 説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒にあって広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

【総務】

市 勢

【位 置】

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、京都府の北西部に位置し、西は兵庫県と接し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあり、面積 552.54 km²と京都府内では、京都市、南丹市に次いで 3 番目に広大な市域を有しています。

気候条件としては、日本海気候に属し、盆地特有の夏と冬・昼と夜の気温差が激しい気候となっています。

京都市と神戸市から直線で約 60km、大阪市からは約 70km の距離にあり、交通網の発展により京阪神へのアクセスも良好で、比較的日本海にも近い本市は、その地理的条件により、北近畿の交通の結節点となっています。

また、福知山駅および国道沿いに広がる市街地と、その周辺の農山村地域によって構成され、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山などの山々、さらに由良川をはじめその支流である土師川、牧川、宮川などが流れており、整備された交通・都市基盤の美しい自然を兼ね備えています。

【沿 革】

福知山盆地には、古くは縄文時代から人が住んでいましたが、昭和 61 年広峯古墳群（古墳時代）から盤龍鏡が出土したことにより、古代において、出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が、交通・文化などにおいて重要な位置を占めていたことがうかがえます。地理的には日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点として、歴史的には丹後・山陰と都を結ぶ主要街道の要衝として、山陰道の陸運の要所だけでなく由良川を通じて日本海沿岸ともつながる水運で栄えました。

天正 7 年（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が福知山城を築き、関ヶ原の合戦後、有馬豊氏が城主となり城下町が整備され、以来、明治 4 年の廃藩置県まで 300 年近い間、江戸期を通じて城下町として繁栄しました。その当時の江戸時代のまち割りが今も残っています。

明治 22 年の町村制施行で福知山町が誕生し、同 31 年には陸軍歩兵第 20 連隊の駐屯が開始される一方、同 32 年大阪、同 43 年京都へとそれぞれ鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また“北近畿の商都＝商いのまち”として発展を遂げました。

戦後は、昭和 49 年に内陸工業団地として日本有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤を形成するとともに、JR 線や北近畿タンゴ鉄道宮福線の電化、舞鶴若狭自動車道や国道 9 号線土師バイパスの整備、また国道 175 号や国道 176 号など多くの国道が交わり、北近畿の交通の要衝とし機能がより高まりました。

一方、こうした広域交通体系の整備と並行して、昭和 29 年から土地区画整備事業や下水道事業、都市計画道路等の整備を先進的に取組んでおり、特に 21 世紀のまちづくりの核となる福知山駅周辺地域においては、新たな都市地区形成を図るため、駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地区画整理事業を進めるなど、北近畿の玄関口として、恵まれた

自然環境を生かしながら「北近畿をリードする中核都市」作りを目指し、交通・通信の拠点として積極的に都市基盤の充実を図ってきました。

令和４年には、本市の新たな指針となる「まちづくり構想 福知山」を策定し、2040年（令和22年）の将来像を見据え、「市民と共に考え、市民と共に作り、市民と共に実行する」まちづくりを推進しています。

また、防災面では、「消防機能」の他「市民防災研修機能」「災害対策機能」を併せ持つ消防防災の拠点施設「福知山市消防防災センター」を整備、平成24年5月1日より運用を開始しており、「いのちと暮らしを守るやすらぎのまち」を創るため、過去の災害を忘れず、近年多発する大規模災害に対し、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

（令和８年４月１日現在）

	面積（k m ² ）	人口（人）	世帯数（世帯）
福知山市	552.54	73,447	36,976
消防職員一人あたりの割合（職員数143人）	3.86	513.6	258.6

周囲（km）	広ぼう（km）		海拔（m）		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135° 07′	35° 17′

市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ カシ ヒノキ ウメ	サツキ キキョウ ハギ レンゲツツジ フジ	ウグイス キジ	ドッコちゃん  酒呑童子 

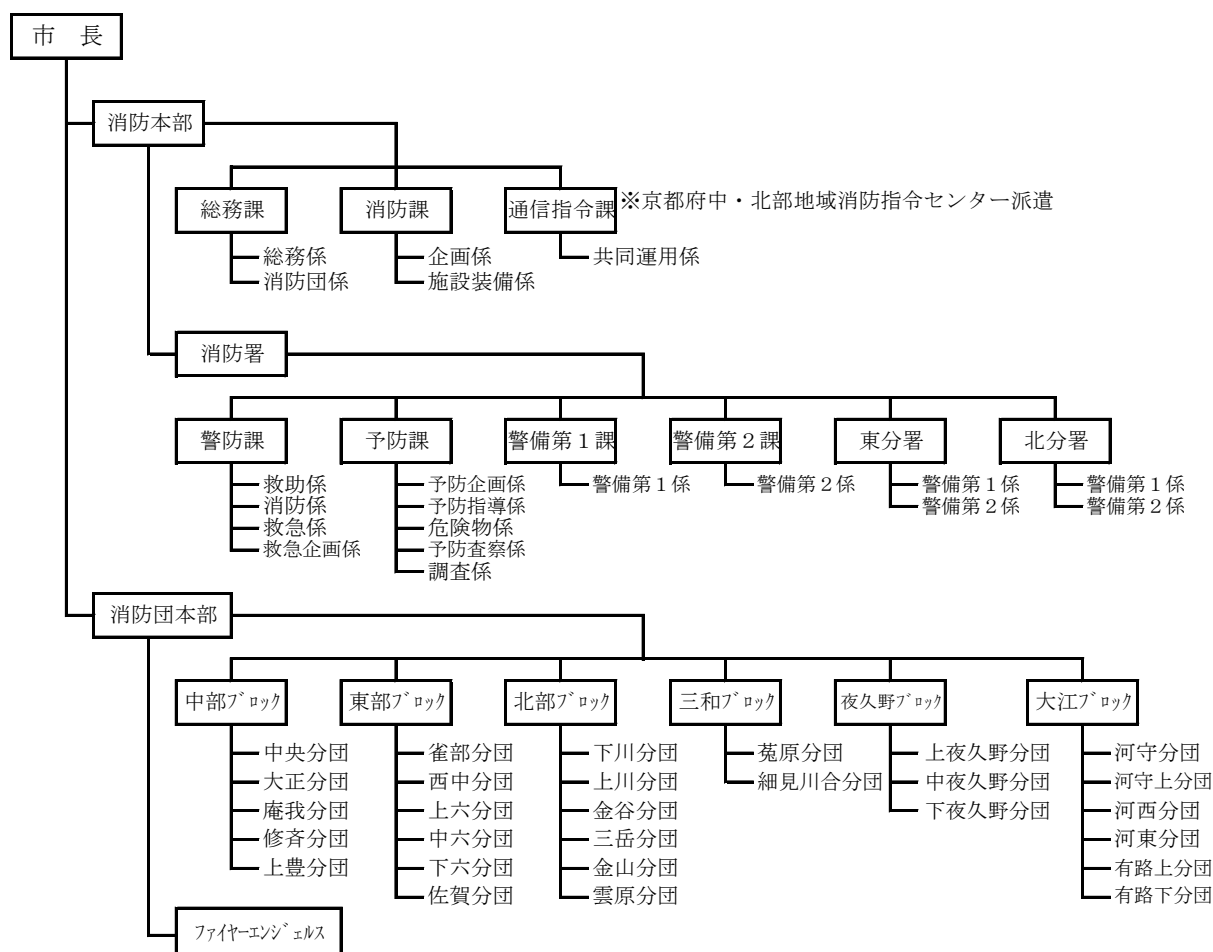
福知山市位置・管内案内図

面 積	552.54 k m ²
周 囲	174.20 k m
海 抜	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	73,447 人
世帯数	36,976 世帯

(令和8年4月1日現在)



消 防 機 構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46-1	庁舎棟 鉄骨造 2 階建 延 3,109 m ²	25,149 m ²	H24.3	消防防災 訓練場
福知山消防署					防災 ヘリポート
京都府中・北部地域 消防指令センター 防災センター		訓練棟他 附属建物 延 1,047 m ²			防災広場
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12-2	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 772.82 m ²	25,235 m ²	S56.9	訓練場
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 473.52 m ²	1,710 m ²	S56.9	訓練場
福知山市 水防センター	福知山市字戸田 271	鉄骨造平屋建 延 231.5 m ²	772.34 m ²	R3.3	由良川防災ス テーション内

消防の沿革

(令和 8 年 4 月 1 日)

○昭和 2 3 年 1 月 6 日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける。
7 月 4 日	ポンプ車 2 台 定員 15 名 職員 4 名増員 実員 19 名
○昭和 2 4 年 5 月 3 1 日	職員 6 名増員 実員 25 名
8 月 1 8 日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の 3 係を置く。
1 2 月 1 5 日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和 2 5 年 8 月 1 9 日	小牧大火 集落の 3 分の 1、16 戸全焼 (2,300 m ²)、損害額 12,437 千円
1 1 月 2 3 日	指令車 (トヨタクラウン) を購入配置
1 2 月 2 0 日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車 2 台、普通ポンプ車 1 台
○昭和 2 6 年 4 月 1 1 日	職員 7 名増員 実員 32 名
○昭和 2 8 年 9 月 2 5 日	台風 13 号襲来 由良川水位 8.1m に達し、市街地全域が水没し、死者 4 名、重軽傷者 788 名、家屋の流失 55 戸、家屋の全壊 428 戸、半壊 1,181 戸、床上浸水 3,641 戸 (内 2 階浸水 3,202 戸)、床下浸水 195 戸、その他被害総額 6,649,424 千円
○昭和 2 9 年 4 月 1 日	職員 2 名増員 実員 34 名
○昭和 3 0 年 4 月 1 日	消防本部に消防署を併設し、1 署 3 係となる。 上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の 8 ヶ村合併により、面積 254.93k m ² 、人口約 61,000 人
○昭和 3 1 年 3 月 3 1 日	ジープ型ポンプ車を購入配置、国消 FM-1 型無線を配置
9 月 3 0 日	佐賀村分村合併により、面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人
○昭和 3 4 年 9 月 2 6 日	伊勢湾台風 由良川水位 7.1m に達し、重軽傷者 26 名、家屋の流失 4 戸、全壊 6 戸、半壊 103 戸、床上浸水 3,473 戸、床下浸水 1,644 戸、その他被害総額 1,164,566 千円
○昭和 3 5 年 3 月 5 日	普通ポンプ車を購入配置 (更新) する。
○昭和 3 6 年 9 月 1 6 日	第二室戸台風 瞬間最大風速 43m を記録し、死者 3 名、重軽傷者 6 名を出し、家屋の全壊 9 戸、半壊 67 戸、その他被害総額 162,482 千円
○昭和 3 7 年 5 月 8 日	内記五丁目大火 全焼 12 戸、半焼 3 戸、部分焼 6 戸、農機工場より出火し、焼失面積 2,393 m ² 、損害額 23,911 千円
5 月 8 日	技術吏員 1 名増員し、危険物規制事務開始 実員 35 名
1 1 月 2 0 日	福知山市字天田小字中長戸 76 番地に、鉄筋コンクリート 2 階建庁舎を建設し業務を開始
1 2 月 2 0 日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける。
○昭和 4 0 年 3 月 3 1 日	小牧大火 全焼 7 戸、部分焼 2 戸、焼失面積 782 m ² 、損害額 8,732 千円
○昭和 4 2 年 1 2 月 4 日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始 (救急車を購入配置) 職員 4 名増員 実員 39 名
○昭和 4 5 年 3 月 4 日	大槻内科医院より自動二輪車 4 台寄贈を受ける。

○昭和45年4月1日 11月13日	職員1名増員 実員40名 大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和46年4月1日	職員3名採用 実員40名
○昭和47年3月15日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける。
○昭和48年10月1日 12月13日	職員3名増員 実員43名 新町大火 全焼13戸、半焼2戸、部分焼8戸、り災世帯10世帯、り災人員43名、焼失面積1,929㎡、損害額60,708千円 消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
○昭和49年2月13日 4月1日 5月10日 5月23日 7月1日	内記六丁目大火 全焼6戸、半焼1戸、部分焼1戸、り災世帯8世帯、り災人員35名、死者1名、負傷者2名、焼失面積730㎡、損害額28,130千円 消防職員7名増員 実員50名 日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける。 指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新） 本部機構改革 2課5係となる。
○昭和50年2月27日 4月1日	化学車（Ⅲ型）を購入配置 消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新） 消防職員4名増員 実員54名
○昭和51年2月6日 5月13日 6月14日 7月1日	農協共済より救急車（2B）の寄贈を受ける。 内記四丁目大火 全焼7戸、部分焼3戸、り災世帯3世帯、り災人員20名、焼失面積1,267㎡、損害額19,793千円 消防本部、団本部を新市庁舎へ移す。 消防職員3名採用（内1名増員） 実員55名
○昭和52年4月1日 7月19日	消防職員1名増員 実員56名 指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和53年4月1日 10月1日	消防職員3名採用 実員56名 消防職員2名増員 実員58名
○昭和54年3月26日 3月31日 8月1日	原動機付自転車2台を購入配置 福知山消防署庁舎改修 林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和55年1月23日 3月11日 8月1日	普通消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置 日本損害保険協会より救急自動車（3B）の寄贈を受ける。 消防職員3名採用 実員58名
○昭和56年1月23日 3月9日 3月31日 4月1日 9月11日 9月21日	一市三町広域消防調印式挙行（福知山市、三和町、夜久野町及び大江町） 普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入配置（更新） 救急車購入配置 一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員21名増員 実員79名 福知山市長田野町三丁目12番地の2 福知山消防署東分署庁舎完成（RC造2階建延床面積772.82㎡） 福知山市字牧471番地の2 福知山消防署北分署庁舎完成（RC造2階建延床面積419.81㎡） 日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置

9月24日	普通消防ポンプ自動車（BD-I型）を2台購入、両分署に配置
○昭和56年9月30日	広報車を購入し、東分署に配置
10月1日	2分署開設し、業務開始（分署長以下13名×2分署）
11月20日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
12月1日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける。
○昭和57年3月24日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
4月1日	消防職員4名増員 実員83名
12月11日	はしご付消防ポンプ自動車（24m級）を購入し、消防署に配置
○昭和58年3月31日	小型動力ポンプ（C-1級）を購入し、2分署に配置
4月1日	消防職員2名増員 実員85名
9月26日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（BD-I型）の寄贈を受ける。
9月29日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
○昭和59年3月30日	救助工作車を購入し、消防署に配置
3月31日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（2B型）を購入配置（更新）
8月31日	隣接5消防本部と消防相互応援協定を締結
○昭和60年4月1日	本部機構改革し、3係を置く。 消防職員4名採用 実員85名
○昭和61年3月4日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型A級）を購入し、消防署に配置（更新）
3月5日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和62年1月17日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける。
3月18日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
4月1日	消防職員5名増員 実員90名
○昭和63年4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員91名
5月24日	2時36分 西中ノ町建物火災、3時50分 駅前町建物火災（道草横町）、両火災で全焼2戸、半焼5戸、部分焼3戸、り災世帯8世帯、り災人員23名、焼失面積709㎡、損害額47,302千円
10月5日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年12月4日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける。
○平成2年3月31日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける。
4月1日	消防職員1名採用 実員91名
5月1日	消防職員1名増員 実員92名
○平成3年4月1日	消防職員4名採用 実員92名
6月25日	JR福知山線「岡踏切」列車事故 重症者3名、中等症者16名、軽症者290名
8月20日	北京都信用金庫より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける。
○平成4年2月5日	水槽付消防ポンプ自動車（水-II型A級）を購入し、東分署に配置
4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員93名
10月16日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける。
11月25日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成5年1月30日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）

4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員94名
○平成5年4月26日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
7月1日	職員定員104名とする。 烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
9月1日	消防職員4名増員 実員98名
9月17日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ型）の寄贈を受ける。
9月30日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新）
11月11日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成6年4月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員99名
5月18日	本部初の救急救命士1名誕生
○平成7年1月18日	兵庫県南部地震による応援出動（～26日）
1月23日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
2月14日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
4月1日	消防職員3名採用（内2名増員） 実員101名 救急救命士実員1名
○平成8年1月22日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
3月11日	高規格救急自動車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
4月1日	消防職員1名採用 実員101名 救急救命士実員2名 本部・署機構改革 本部2係・署2課1室6係となる。
4月30日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける。
11月14日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
○平成9年4月1日	消防職員3名採用 実員102名 救急救命士実員4名
10月12日	自治体消防制度50周年、市制施行60周年記念行事（消防フェア福知山）開催
12月28日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成10年3月3日	福知山市防災センター竣工
4月1日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）運用開始 消防無線第2市波運用開始 携帯電話からの119番通報受信体制整備（代表受信消防本部） 救急救命士実員8名
8月27日	北分署改修工事着手
○平成11年4月1日	消防職員3名採用 実員102名 救急救命士実員9名 本部・署機構改革 本部2係・署2課1室2分署12係となる。
7月1日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
○平成12年3月7日	消防広報誌「火の用心」創刊
4月1日	消防職員2名採用 実員102名 救急救命士実員11名
○平成13年1月22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
3月1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める。
3月22日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける。
3月23日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
4月1日	救急救命士実員12名
○平成14年2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を購入し、消防署に配置（更新）
4月1日	救急救命士 実員13名
12月16日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）

○平成15年4月1日	消防職員2名（内1名救急救命士資格取得者）採用 実員102名 救急救命士実員14名
12月1日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成16年2月23日	第1回自主防火・防災リーダー養成講座実施
4月1日	消防職員1名採用 実員102名 予防課に住民安全係を設置 本部2係、署2課1室2分署13係となる。
4月2日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける。
9月11日	「救急フェア」開催
10月20日～21日	「台風23号災害」半壊・一部損壊63戸、浸水家屋844戸、被害額4,421,498千円 由良川水位7.55mに達する。
11月13日	IP電話（ケイオプティコム）からの119番通報受信開始
○平成17年2月14日	IP電話（日本テレコム）からの119番通報受信開始
3月29日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
4月1日	消防職員2名採用 実員102名 救急救命士実員16名
6月11日	消防団緊急伝達システム 運用開始
8月29日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信開始
10月1日	IP電話（KDDI）からの119番通報受信開始
○平成18年1月1日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併し、広域受託消防体制を解消
1月10日	IP電話（NTT西日本）からの119番通報受信開始
2月2日	携帯電話119番通報 直接受信開始
4月1日	消防職員3名採用 実員104名 救急救命士実員17名
10月29日	第1回自主防火・防災リーダー中級講座実施
12月21日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信終了
○平成19年2月1日	消防ポンプ自動車（水槽付CD-I型）を購入し、北分署に配置
4月1日	消防職員2名採用 実員103名
4月1日	予防技術資格者認定制度開始
10月1日	携帯電話・IP電話発信位置表示通知システム導入
10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年記念事業（消防防災フェア）開催
○平成20年4月1日	消防職員5名採用 実員104名
11月8日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成21年3月23日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
4月1日	消防職員2名採用 実員104名 救急救命士実員18名
○平成22年4月1日	消防職員定数130名とする。 消防職員12名採用 実員110名 救急救命士実員20名
4月17日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
6月1日	消防ポンプ自動車（CD-1型）を購入し、東分署に配置（更新）
10月14日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける。
○平成23年3月1日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
3月11日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4月2日）
4月1日	消防職員8名採用 実員114名 救急救命士実員22名 北分署機構改革 増員（分署長以下22名）及び昨年度寄贈の高規格救急自動車を配置し、救急2隊運用を開始する。
○平成24年3月29日	福知山市東羽合町46番地の1に、鉄骨造2階建庁舎「福知山市消防防災セン

	ター」竣工
3月30日	「福知山市防災広場」竣工
4月1日	消防職員6名採用（内1名救急救命士資格取得者） 実員117名 救急救命士実員24名
4月25日	消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新し運用開始
5月1日	消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町46番地の1「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始
○平成25年1月17日	消防防災センター来館者が1万人に達する。
3月6日	総務省消防庁より緊急消防援助隊後方支援隊用車両として機動装備車の無償貸与を受ける。
2月14日	下紺屋町建物火災、全焼6棟、部分焼6棟、ぼや1棟、り災人員20名、焼失面積802㎡
4月1日	消防職員10名採用（内6名増員） 実員123名 救急救命士実員25名 消防職員1名を京都府立消防学校教官として派遣する。（2年間）
8月15日	福知山花火大会会場で火災事故発生 死者3名、負傷者56名
9月15日	「台風18号災害」全壊2棟、半壊311棟、床下浸水356棟、大規模半壊19棟、一部損壊・床上浸水423棟、由良川水位8.3mに達する。
10月24日	京都府立消防学校北部訓練拠点開設式 京都府北部地域消防団員等の訓練拠点として消防防災センターの供用を開始
○平成26年4月1日	消防職員5名採用（内1名増員） 実員124名 救急救命士実員26名 消防署に指揮隊車を配置し、24時間常駐の指揮隊の運用を開始する。 消防救急デジタル無線運用開始
8月16日	「8月豪雨災害」8月16日～17日にかけて降り続いた観測史上最大の雨による内水被害が発生し、4,500棟が浸水
○平成27年1月29日	消防団簡易デジタル無線整備
3月27日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を購入し、消防署に配置（更新）
4月1日	消防職員8名採用（内1名増員） 実員125名 救急救命士実員25名 消防本部機構改革 本部4課8係、署4課2分署13係となる。
7月14日	eラーニング方式による救急講習を開始
9月9日	福知山市救急まちかど安心ステーション開設
○平成28年1月18日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
3月25日	指令車（トヨタノア）を購入し、消防本部に配置（更新）
4月1日	消防職員6名採用（内1名増員、内1名救急救命士資格取得者） 実員126名 救急救命士実員26名 消防署機構改革 4課2分署12係となる。
4月16日	熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4月22日）
11月6日	消防防災センターオープン5周年「ふくちやま消防防災フェア」開催
○平成29年3月29日	消防防災センター来館者が5万人に達する
4月1日	消防職員6名採用（内4名増員） 実員129名 救急救命士実員27名
4月10日	災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、消防署北分署に配置（更新）
9月17日	「台風18号災害」一部損壊・床上浸水5棟、床下浸水29棟
9月22日	支援車を購入し、消防署に配置（更新）
10月22日	「台風21号災害」半壊12棟、一部損壊・床上浸水77棟、床下浸水92棟
○平成30年4月1日	消防職員5名採用（内1名増員、内1名救急救命士資格取得者） 実員130名 救急救命士実員28名

7月3日	消防本部機構改革 本部3課6係、署4課2分署14係となる。 「7月豪雨災害」
7月31日	全壊5棟 半壊39棟 一部損壊・床上浸水208棟 床下浸水493棟 7月豪雨災害発生に伴い、緊急消防援助隊として出動(～8月1日：広島県広島市)
○平成31年2月18日	救助工作車を購入し、消防署に配置(更新)
2月22日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、東分署に配置(更新)
4月1日	消防職員5名採用 実員129名／定数130名 救急救命士実員29名
令和元年7月12日	一般社団法人無人航空機器操縦士養成協会と『消防活動における無人航空機等による協力に関する協定』を締結
○令和2年3月30日	総務省消防庁より緊急消防援助隊士砂風水害機動支援部隊用車両として重機搬送車と重機の無償貸与を受ける。
4月1日	消防職員8名採用 実員130名／定数130名 救急救命士実員31名
4月1日	京都府中・北部地域消防指令センター共同運用準備委員会を設置
4月28日	化学消防ポンプ自動車を購入、東分署に配置(更新)
8月26日	福正小松販売(株)、但馬重機(株)と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
11月9日	京都府中・北部地域消防指令事務協議会を設置(福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市、京都中部広域消防組合、宮津与謝消防組合消防本部)
○令和3年3月1日	屈折はしご付(25m級)消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配置(更新)
3月7日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、消防署に配置(更新)
4月1日	消防職員3名採用(内1名救急救命士資格取得者) 実員130名／定数130名 救急救命士実員32名
	消防署機構改革 本部3課7係、署4課2分署18係となる。
4月21日	「福知山市水防センター」運用開始
12月23日	日立建機日本(株)関西支社と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
○令和4年3月18日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、北分署に配置(更新)
4月1日	消防職員3名採用 実員129名／定数130名 救急救命士実員35名
○令和5年2月1日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を購入し、東分署に配置(更新)
2月14日	福知山建設業協会と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結 福知山生コンクリート協同組合と『災害時における消防活動の協力に関する協定書』を締結
4月1日	消防職員7名採用(内1名救急救命士資格取得者) 実員129名／定数130名 救急救命士実員37名
6月1日	消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入し、消防署に配置(更新)
8月14日	「台風7号災害」全壊10棟、半壊2棟、準半壊6棟・床上浸水22棟、床下浸水79棟
○令和6年1月1日	令和6年能登半島地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動(～2月19日：石川県珠洲市)
2月1日	消防本部機構改革 本部3課5係、署4課2分署15係となる。
4月1日	消防職員定数155名とする。 消防職員9名採用 実員137名／定数155名 救急救命士実員38名 消防職員1名を京都府立消防学校教官として派遣する。(2年間) 福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市、京都中部広域消防組合及び宮津与謝消防組合消防本部が、共同で119番通報を一括受信・共同処理する「京都府中・北部地域消防指令センター」の運用を開始

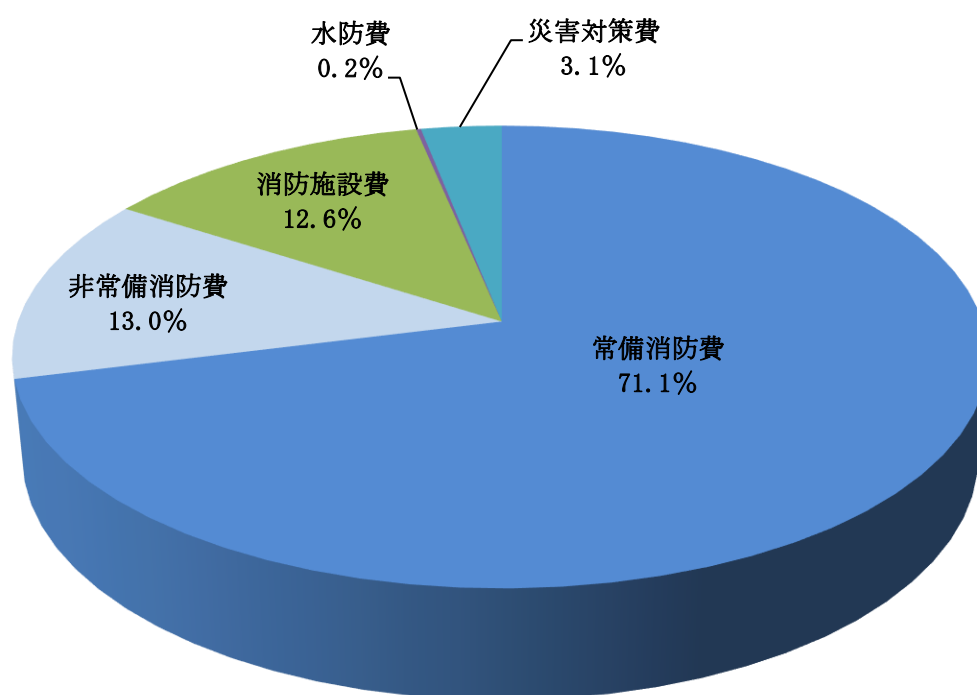
10月8日	Instagram 福知山市消防本部公式アカウントの運用開始
10月25日	指揮広報車を購入し、東分署に配備（更新）
10月26日	三峠断層を震源想定とした令和6年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を福知山市内で実施（～10月27日）
11月1日	資機材搬送車を購入し、東分署に配置（更新）
○令和7年2月1日	高規格救急自動車（日産パラメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
4月1日	消防職員6名採用 実員140名／定数155名 救急救命士実員42名
10月30日	指揮広報車を購入し、北分署に配備（更新）
○令和8年2月2日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
3月18日	救援車を購入し、消防署に配置（更新）
4月1日	消防職員8名採用 実員143名／定数155名 救急救命士実員43名 消防職員1名を総務省消防庁 国民保護・防災部へ派遣する。（2年間）

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）					
年 度		令和 8 年度	令和 7 年度	令和 6 年度	
一般会計予算		48,480,000	47,190,000	46,170,000	
消防費予算		1,896,898	1,858,678	1,766,001	
比		3.9%	3.9%	3.8%	
内 訳	常備消防費		1,348,019	1,268,110	1,138,655
	非常備消防費		246,828	193,260	244,711
	その他	消防施設費	240,075	335,767	304,201
		水防費	3,394	3,394	4,988
		災害対策費	58,582	58,147	73,446

2 令和 8 年度 消防予算の内訳



消防職員の定員及び現在員数

(令和8年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条例定数								155
実員	1	2	23	37	45		34	1	143

消防職員の配置表

(令和8年4月1日)

		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
合計		1	2	23	37	45		34	1	143
消防本部	消防長	1								1
	総務課	次長兼課長	1							1
		担当課長		1						1
		総務係		1	1				1	3
		消防団係		1	1					2
	消防課	課長		1						1
		企画係		1		1				2
		施設装備係		1		1				2
	通信指令課	課長		1						1
		課長補佐		1						1
		共同運用係			3					3
消防署	次長兼署長		1							1
	警防課	課長		1						1
		担当課長		1						1
		救助係			2	3				5
		消防係			2	5		1		8
		救急係			2	1		2		5
		救急企画係			2	3		1		6
	予防課	課長		1						1
		担当課長		1						1
		予防企画係		1	1	1				3
		予防指導係			4	1				5
		危険物係		1	1					2
		予防査察係		1		1				2
		調査係		1		2		1		4
	署	警備第1課		1(1)	4(2)	3(8)		5(1)		13(12)
		警備第2課		2	3(2)	4(5)		4(4)		13(11)
東分署	分署長			1						1
	警備第1係				3	5		3		11
	警備第2係			1	2	5		3		11
北分署	分署長			1						1
	警備第1係			1	2	5		3		11
	警備第2係				4	4		3		11
初任教育入校								8		8

※ () は、兼務人数を表す。

消防職員階級別年齢状況

(令和8年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満							6		6
20才以上 24才以下					2		20		22
25才以上 29才以下					11		8		19
30才以上 34才以下					25				25
35才以上 39才以下				12	7			1	20
40才以上 44才以下			1	18					19
45才以上 49才以下			4	4					8
50才以上 54才以下	1	1	13	1					16
55才以上		1	5	2					8
合計	1	2	23	37	45		34	1	143
平均年齢	53.0	54.5	52.3	42.2	31.2		22.2	36.0	35.8

消防職員階級別勤続年数

(令和8年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満							32		32
5年以上 10年未満					21		2		23
10年以上 15年未満				10	21			1	32
15年以上 20年未満				18	3				21
20年以上 25年未満			1	6					7
25年以上 30年未満		1	7						8
30年以上	1	1	15	3					20
合計	1	2	23	37	45		34	1	143
平均勤続年数	32.0	32.5	31.9	17.3	9.9		1.9	4.0	13.9

事務分掌

【消防本部事務分担表】

総務課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 消防団に関する事。
- 8 消防長会及び他都市等との調整に関する事。
- 9 福知山市事務分掌条例施行規則第4条第2項に規定する部の管理主管課の共通事務に関する事。

消防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 消防施策の立案及び調整に関する事。
- 3 消防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 4 消防行政の広報に関する事。
- 5 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 6 応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。
- 7 水防計画に関する事。
- 8 その他消防業務に関する事。

通信指令課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 災害通報の受付及び指令管制業務に関する事。
- 3 消防指令施設及び消防通信施設の保全管理及び技術指導に関する事。
- 4 消防通信の高度化に関する事。
- 5 京都府中・北部地域消防指令事務協議会に関する事。
- 6 その他通信指令業務に関する事。

【消防署事務分担表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 福知山市消防防災センターの庁舎管理に関する事。
- 4 警防訓練に関する事。
- 5 消防関係団体に関する事。
- 6 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 7 消防地理水利に関する事。
- 8 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 9 消防団に関する事。
- 10 消防隊等の出動計画に関する事。
- 11 火災・救急・救助業務の技能・安全管理及び高度化に関する事。
- 12 その他火災・救急・救助業務に関する事。
- 13 火災・救急・救助統計に関する事。
- 14 警防に関する条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 15 救急搬送証明書の交付に関する事。
- 16 消防署の他の課の主管に属さない事。

予防課

- 1 文書の収受発送に関すること。
- 2 火災予防対策に関すること。
- 3 予防に関する条例、規則、規程その他法制に関すること。
- 4 防火・防災管理者に関すること。
- 5 予防査察及び防火指導に関すること。
- 6 予防広報に関すること。
- 7 災害時要配慮者に対する防火指導に関すること。
- 8 違反処理に関すること。
- 9 消防用設備等及び特殊消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 10 建築物の確認同意事務に関すること。
- 11 危険物製造所等の許認可に関すること。
- 12 危険物保安監督者等の指導に関すること。
- 13 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 15 自主防災組織等の育成に関すること。
- 16 消防関係団体に関すること。
- 17 火災統計に関すること。
- 18 火災調査に関すること。
- 19 り災証明書の交付に関すること。
- 20 福知山市防災センターの運営・管理に関すること。

警備第1課、警備第2課

- 1 災害現場活動及びその統括調整並びに教養訓練に関すること。
- 2 現場指揮及び安全管理に関すること。
- 3 警防計画等の策定及び対策に関すること。
- 4 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 5 消防通信の運用に関すること。
- 6 火災調査に関すること。
- 7 気象情報及び災害情報に関すること。
- 8 災害発生時の関係機関との連絡調整に関すること。
- 9 非常招集に関すること。
- 10 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 11 消防地理水利に関すること。
- 12 火災・救急・救助業務に関すること。
- 13 消防団に関すること。
- 14 その他消防署長が必要と認めること。

分 署

- 1 文書の収受発送に関すること。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 3 分署員の教養訓練に関すること。
- 4 庁舎管理に関すること。
- 5 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 6 消防地理水利に関すること。
- 7 火災・救急・救助業務に関すること。
- 8 消防団に関すること。
- 9 災害現場活動に関すること。
- 10 警防計画等の策定及び対策に関すること。
- 11 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 12 火災調査に関すること。
- 13 その他分署長が必要と認めること。

消防相互応援協定の締結状況

(令和8年4月1日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両 丹 都 市 消 防 相 互 応 援 協 定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成 21 年 2 月 1 日	市 域 間 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
消 防 相 互 応 援 に 関 す る 協 定	京都中部広域 消防組合	平成 20 年 4 月 1 日	常 備 消 防 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
〃	豊岡市	平成 18 年 1 月 1 日	市 域 間 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
〃	南但広域 行政事務組合	平成 25 年 4 月 1 日	〃
〃	丹波市	平成 19 年 1 月 1 日	〃
〃	丹波篠山市	平成 11 年 4 月 26 日	〃
京 都 府 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	京都府 26 市町村 ・ 4 消防組合	令和 2 年 3 月 27 日	大 規 模 災 害 及 特 殊 災 害 等
舞 鶴 若 狭 自 動 車 道 に お け る 消 防 相 互 応 援 協 定	敦賀美方消防組合 若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 丹波篠山市 三田市 三木市 神戸市	令和 6 年 4 月 1 日	高 速 道 路 に お け る 火 災 ・ 救 急 及 救 助 業 務

【警 防】

消防本部・署別自動車現勢一覧

(令和8年4月1日)

所属	名 称	種 別	車名・型式	登録年月日	定員	備 考
本部	指 令 車	指 令 車	トヨタ DBA-ZRR85G	H28. 3. 24	8	
消 防 署	ポンプ1号車	ポ ン プ 車	日 野 2KG-XZU685M	R5. 5. 17	5	CD-Ⅰ型
	ポンプ2号車	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU378M	H19. 1. 25	5	CD-Ⅰ型
	ポンプ5号車	ポ ン プ 車	日 野 BDG-XZU378M	H22. 5. 24	6	CD-Ⅰ型
	タ ン ク 車	水槽付ポンプ車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H27. 3. 5	6	水1-A型 圧縮泡消火装置付き
	救助工作車	救 助 工 作 車	日 野 2KG-GX2ABA	H31. 1. 10	6	
	梯子車	梯子付ポンプ車	日 野 2DG-FH1AGA改	R3. 1. 15	6	25m級
	機動装備車	機 動 装 備 車	三 菱 TKG-FGB70	H25. 2. 21	3	
	重機搬送車	重 機 搬 送 車	日 野 2DG-GK2ABA	R2. 3. 18	3	
	救急1号車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R3. 3. 4	7	高規格
	救急2号車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H28. 1. 8	7	高規格
	指揮隊車	指 揮 隊 車	トヨタ CBF-TRH216K	H26. 3. 24	5	
	支援車	支 援 車	ニッサン DBA-NT32	H29. 9. 19	5	
	資機材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ KF-CM85	H13. 3. 19	3	
	資材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ KG-LY280	H15. 10. 2	6	団予備車
	連絡車	広 報 車	スズキ CBA-MH21S	H16. 7. 30	4	
	防火指導車	防 火 指 導 車	ホンダ DBA-JF2	H24. 9. 14	4	
	査 察 車	査 察 車	ダイハツ DBA-LA600S	H29. 4. 27	4	
	救 援 車	救 援 車	ニッサン 3BF-DS8E26	R8. 2. 27	14	
	搬 送 車	搬 送 車	トヨタ CBF-TRH228B	H18. 5. 26	15	
	防災学習車	防 災 学 習 車	トヨタ CBF-TRH226K	H29. 11. 27	6	
	防火広報車	防 火 広 報 車	ダイハツ 3BD-S331V	R2. 11. 13	4	
	ボートトレーラ	ボートトレーラ	組 立 組 立	R5. 1. 24	-	
東 分 署	ポンプ3号車	ポ ン プ 車	日 野 2DG-XZU685M	R6. 10. 17	6	CD-Ⅰ型
	化 学 車	化学ポンプ車	日 野 2KG-GX2ABA	R2. 3. 30	6	Ⅱ型
	救急3号車	救 急 車	ニッサン 3BF-CS8E26改	R7. 1. 10	7	高規格
	救急5号車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R5. 1. 26	7	高規格
	東指揮広報車	指 揮 車	スバル 5AA-SKE	R6. 10. 7	5	
	東資材搬送車	資 材 搬 送 車	日 野 2DG-XZU685M	R6. 10. 17	5	
北 分 署	ポンプ4号車	ポ ン プ 車	日 野 TKG-XZU685M	H29. 3. 23	5	CD-Ⅰ型 圧縮泡消火装置付き
	救急4号車	救 急 車	トヨタ 3BF-TRH226S	R4. 3. 11	7	高規格
	救急6号車	救 急 車	トヨタ CBF-TRH226S	H31. 2. 12	7	高規格
	北指揮広報車	指 揮 車	ニッサン 6AA-SNT33	R7. 9. 30	5	
	北資材搬送車	資 材 搬 送 車	トヨタ KG-LY230	H15. 10. 2	6	

消防水利の状況

(令和8年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓			
	令和 7 年度		40立米 以 現	40立米 未 現		令和 7 年度		上水道 現 有	簡易水道 現 有
	新設	廃止				新設	廃止		
中 央			106	7	2	2		456	
大 正			47	2	1			161	
雀 部			48	5	1			187	
庵 我			28	13	1			83	
修 斉	1	1	80	16	1			294	
西 中			40	3	1	1		144	
下 川			33	5				91	
上 豊			25	15	1			161	
上 六			22	6	1			78	
中 六			23	3				59	
下 六			64	5				142	
上 川			23	2	1			144	
金 谷			19	5	1			89	
三 岳			8	3					120
金 山			11	4					98
雲 原			1	1					70
佐 賀			7	5	1			88	
長 田 野	3		136	30	1			111	
菟 原			48	13	1				153
細 見	4	1	78	13	1		1		200
川 合			48	3	1				101
上夜久野			52	10	1				256
中夜久野		1	17	2					130
下夜久野		1	28	4	1				211
河 守			29		1		1		123
河 守 上			27	4	1				117
河 西	1		15	5	1		1		79
河 東			32	3	1				115
有 路 上			41	4	1				109
有 路 下			32	3	1				97
合 計	9	4	1, 168	194	24	3	3	2, 288	1, 979

救助活動のための機械器具等の保有状況

(令和8年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	8	8	3
	三連はしご	7	2	2
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	1		
	救命索発射装置	1		
	救助縛帯	8	1	
	平担架	2	1	
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	1	1
	可搬ウインチ	3	2	1
	マンホール救助器具	2		
	マット型空気ジャッキ	2		
	大型油圧スプレッダー	4	1	
切断用	大型油圧切断機	2		
	エンジンカッター	8	3	1
	チェーンソー	3	2	2
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	2		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	8	6	4
破壊器具	万能斧	11	8	4
	ハンマー	5	1	3
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	3		
測定用器具	可燃性ガス測定器	2	2	1
	有毒ガス測定器	1		
	放射線測定器	18	1	6

(令和8年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	32	12	7
	防塵マスク	37	6	
	送排風機	2	1	
隊員保護用	耐電手袋	11	6	6
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	8	6	6
	防塵メガネ	24	9	13
	携帯警報器	11	11	7
	陽圧式化学防護服	10		
水難救助用	潜水器具	10		
	救命胴衣	76	18	12
	救命ボート	7	3	3
	船外機	5	2	2
	救命浮環	9	2	2
	流水救助器具	16	4	4

【統計】

火災概要

			令和7年	令和6年	前 年 比 （ △ 減 ）
火災件数 （件） ※件数の右側（ ） 書きは爆発件数	建 物		19 （0）	19 （0）	
	林 野		6 （0）	1 （0）	5 （0）
	車 両		3 （0）	3 （0）	
	その他		20 （0）	19 （0）	1 （0）
	合 計		48 （0）	42 （0）	6 （0）
焼損面積	建物（㎡）	床面積	1,583	1,754	△171
		表面積	68	57	11
	山林原野（a）		33	1	32
焼損棟数 （棟）	全 焼		8	14	△6
	半 焼		4		4
	部分焼		1	7	△6
	ぼ や		13	17	△4
り災世帯 （世帯）	全 損		7	8	△1
	半 損		1		1
	小 損		7	10	△3
り 災 人 員 （人）			34	44	△10
死傷者 （人）	死 者		3	2	1
	傷 者		8	8	
損害見積額 （千円）	建 物		99,210	57,219	41,991
	収容物		52,242	5,796	46,446
	林 野				
	車 両		732	1,598	△866
	その他		487	10,216	△9,729
	爆 発				
	合 計		152,671	74,829	77,842
火災発生間隔（日）			7.6	8.7	△1.1
1 件平均損害額（千円）			3,181	1,782	1,399
1 日平均損害額（千円）			418	205	213
1 件平均建物床焼損面積（㎡）			33	42	△9

累年火災比較（10年間）

			平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成31年 令和元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
火災件数 （件）	建 物		20	18	15	12	10	13	17	23	19	19
	林 野		1	3			2	1	3	2	1	6
	車 両		3	7	3	6	1		3	2	3	3
	その他		14	14	20	10	4	8	14	25	19	20
	合計		38	42	38	28	17	22	37	52	42	48
焼損面積	建物 （㎡）	床面積	683	763	1,013	447	275	164	697	1,556	1,747	1,583
		表面積	4	47	34	3		53	27	18	57	68
	山林原野（a）		38	3			15		4	30	1	33
焼損棟数 （棟）	全 焼		5	5	3	6	4	4	3	10	14	8
	半 焼			3	1	1	1		2	1		4
	部分焼		4	8	8	5		4	6	5	7	1
	ぼ や		14	5	7	7	7	9	10	16	17	13
り災世帯 （世帯）	全 損		2	2	2	4		1	2	3	8	7
	半 損		1	1		1	1					1
	小 損		16	9	5	5	1	6	6	4	9	7
り災人員（人員）			32	28	22	26	6	13	17	12	44	34
死傷者 （人）	死 者		2	4		2	1	1	1		2	3
	傷 者		5	4	6	4	1	1	7	2	8	8
損害見積額 （千円）	建 物（収容物含む）		26,521	31,480	47,901	40,634	17,134	24,210	54,125	72,307	63,015	151,452
	林 野						1					
	車 両		444	691	258	543	127		519	73	1,598	732
	その他			213	17	38	132	365	8	112	10,216	487
	爆 発		1,600	6,378								
	合計		28,565	38,762	48,176	41,215	17,394	24,575	54,652	72,492	74,829	152,671

署・分署別火災発生状況

(令和7年中)

		消防署	東分署	北分署	合 計
火災件数 (件)	建 物	9	5	5	19
	林 野		2	4	6
	車 両		2	1	3
	その他	7	6	7	20
	合 計	16	15	17	48
焼損面積	建 物 (㎡)	830	100	653	1,583
	山林原野 (a)		10	23	33
焼損棟数 (棟)	全 焼	4	2	2	8
	半 焼	3	1		4
	部 分 焼	1			1
	ぼ や	6	4	3	13
	合 計	14	7	5	26
り災世帯 (世帯)	全 損	5		2	7
	半 損	1			1
	小 損	5	1	1	7
	合 計	11	1	3	15
り災人員 (人)		26	4	4	34
死 者 (人)			2	1	3
傷 者 (人)		4	2	2	8
損害見積額 (千円)	建 物	86,006	7,308	5,896	99,210
	収 容 物	5,414	46,594	234	52,242
	林 野				
	車 両	211	505	16	732
	そ の 他	391	65	31	487
	爆 発				
	合 計	92,022	54,472	6,177	152,671

消防団管内別火災発生状況 1

(令和7年中)

	火災件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	合計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計
						床面積	表面積						
中 央	5				5	282			1	1		3	5
大 正	1			1	2							1	1
雀 部	1	1	1	3	6			1				1	1
庵 我	1	1		1	3	478	55	15	2	1		2	5
修 斉	2			3	5	3	13			1	1	1	3
西 中	1				1							1	1
下 川	1				1							1	1
上 豊	1			3	4	67			1				1
上 六				2	2								
中 六	1				1	100			2	1			3
下 六	1		1	1	3							1	1
上 川	1			1	2							1	1
金 谷			1	1	2								
三 岳				2	2								
金 山													
雲 原													
佐 賀		1			1			9					
菟 原	1				1							1	1
細見川合													
上夜久野	1	1			2	315		3	1				1
中夜久野	1			1	2	338			1				1
下夜久野				1	1								
河 守													
河守上													
河 西		2			2			5					
河 東													
有路上													
有路下													
合 計	19	6	3	20	48	1,583	68	33	8	4	1	13	26

消防団管内別火災発生状況 2

(令和7年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	合計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	合計
中 央	3	1	2	6	13		2	49,632	981		51	272		50,936
大 正			1	1	1		1		2					2
雀 部						1	1		5,031		50	48		5,129
庵 我	2			2	7			35,972	4,119		160	14		40,265
修 斉			2	2	5		1	284	170			25		479
西 中									410					410
下 川									40					40
上 豊							1	118	149			100		367
上 六														
中 六							1	7,292	11,258					18,550
下 六								16	29,892		455			30,363
上 川			1	1	1			28	5					33
金 谷											16			16
三 岳														
金 山														
雲 原														
佐 賀						1						17		17
菟 原			1	1	4				3					3
細見川合														
上夜久野	1			1	2		1	2,262	121			2		2,385
中夜久野	1			1	1			3,606	61			9		3,676
下夜久野														
河 守														
河守上														
河 西						1								
河 東														
有路上														
有路下														
合 計	7	1	7	15	34	3	8	99,210	52,242		732	487		152,671

月別火災発生状況

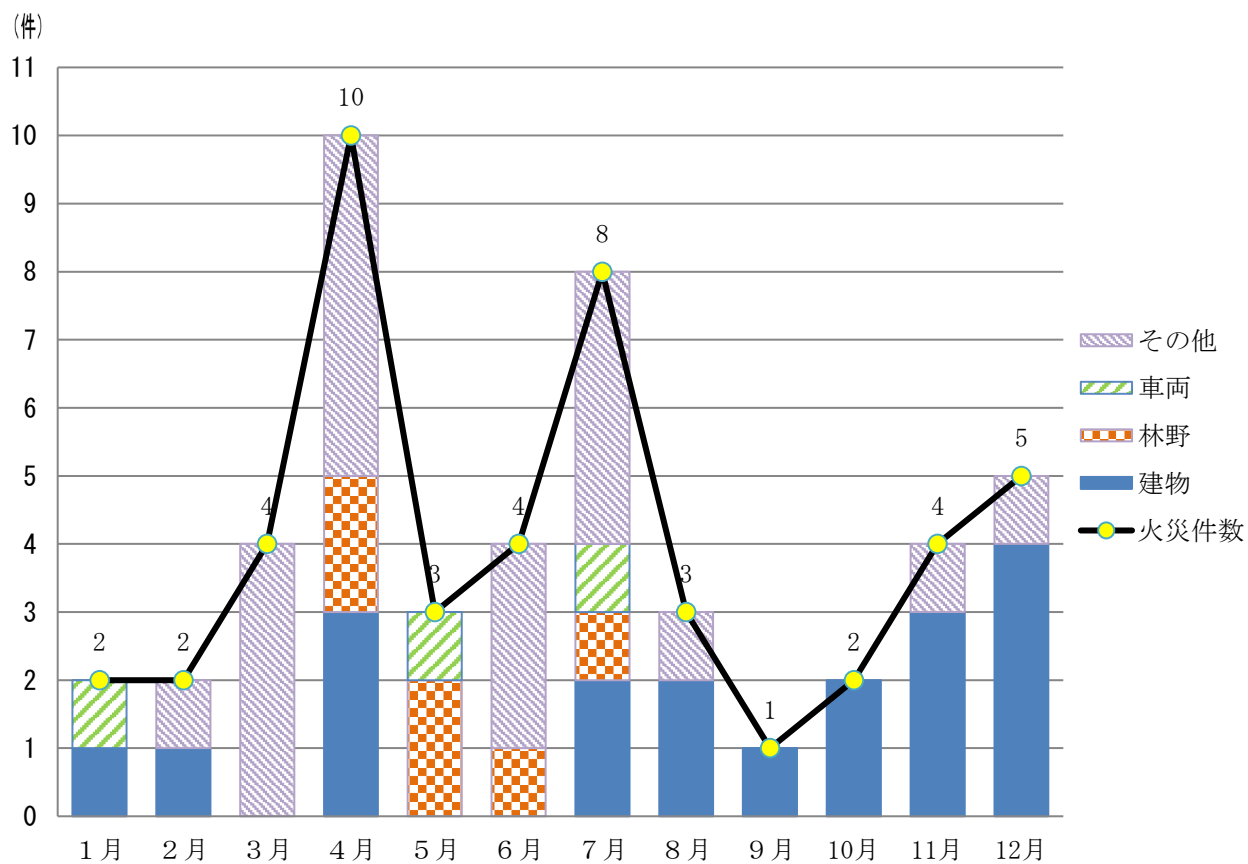
(令和7年中)

	火災発生件数（件）					焼損面積			焼損棟数（棟）				
	建物	林野	車両	その他	合計	建物（㎡）		山林原野（a）	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計
						床面積	表面積						
1月	1		1		2	100			2	1			3
2月	1			1	2							1	1
3月				4	4								
4月	3	2		5	10			5				3	3
5月		2	1		3			12					
6月		1		3	4			15					
7月	2	1	1	4	8	67		1	1			1	2
8月	2			1	3							2	2
9月	1				1	478	55		2	1		2	5
10月	2				2	516			1	1			2
11月	3			1	4	107	13		1	1	1	1	4
12月	4			1	5	315			1			3	4
合計	19	6	3	20	48	1,583	68	33	8	4	1	13	26

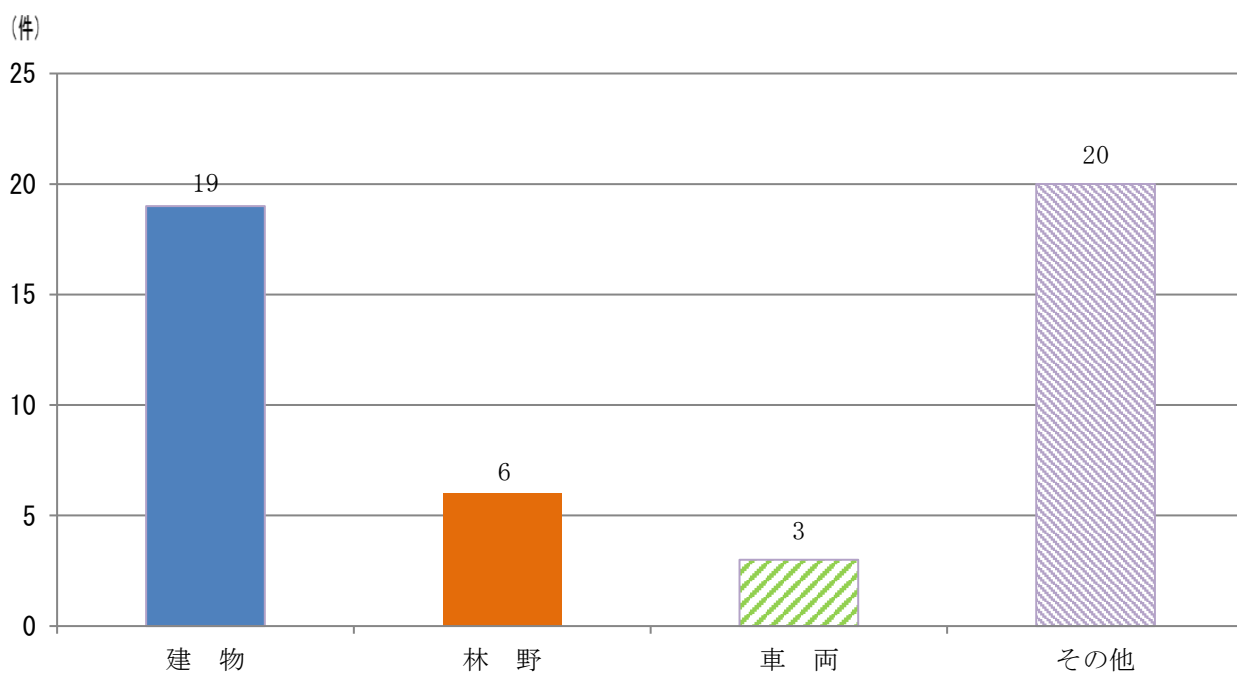
(令和7年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	合計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	合計
1月							1	7,292	11,258		16			18,566
2月									8					8
3月														
4月			2	2	4		1	5	81					86
5月						1					455	17		472
6月														
7月						2	2	118	559		50	100		827
8月							1	16	29,899					29,915
9月	2			2	7			35,972	4,119		160	14		40,265
10月	3	1		4	7		1	49,815	690		51	277		50,833
11月	1		3	4	8		1	3,728	472			57		4,257
12月	1		2	3	8		1	2,264	5,156			22		7,442
合計	7	1	7	15	34	3	8	99,210	52,242		732	487		152,671

月別火災種別件数



火災種別件数

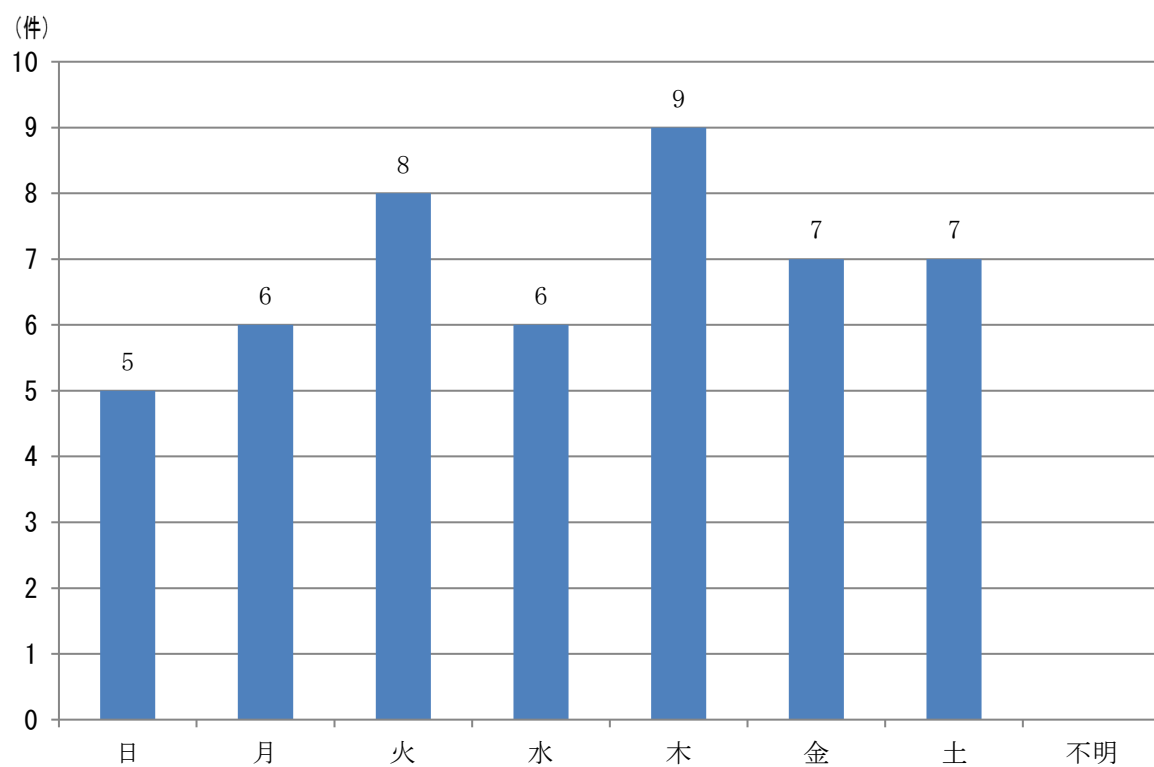


曜日・時間別火災発生状況

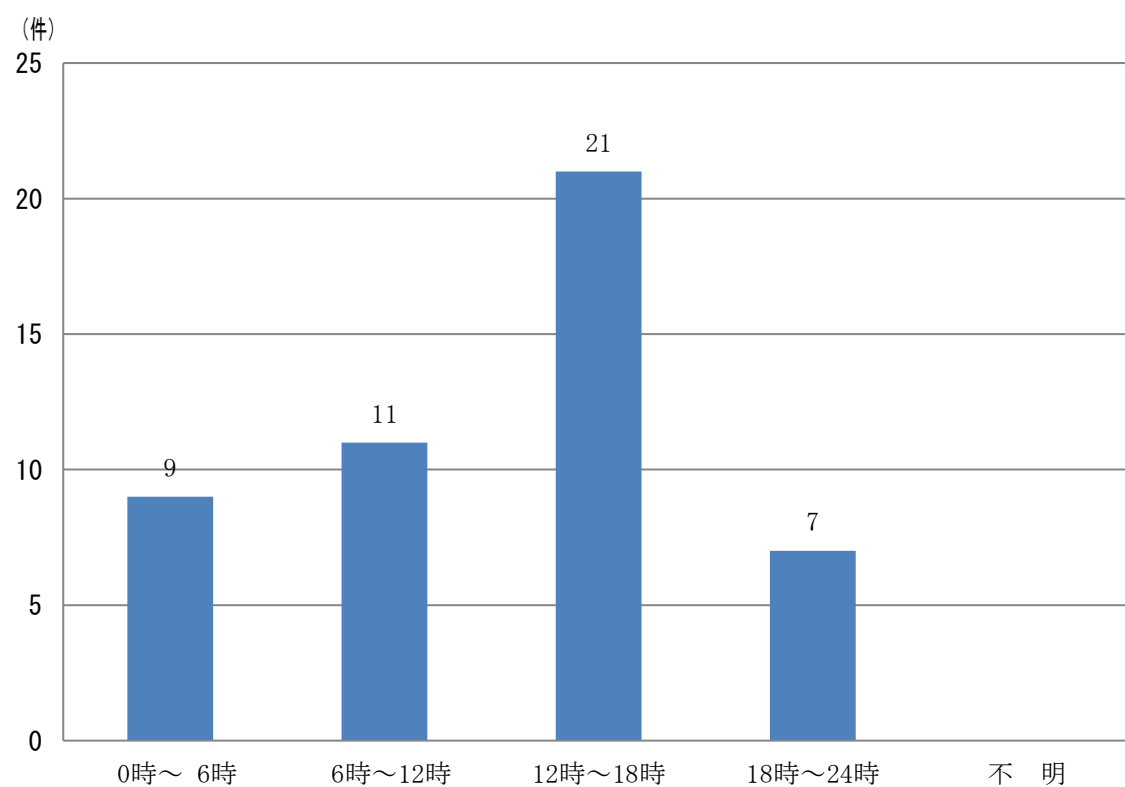
(令和7年中)

		件数 (件)	火 災 種 別				焼 損 面 積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	2		1		1			1	
	6～12	1				1				
	12～18	1			1					50
	18～24	1			1					16
	不 明									
	合 計	5		1	2	2			1	66
月	0～6									
	6～12	1	1							40
	12～18	3	1			2				3
	18～24	2	2				478	55		40,298
	不 明									
	合 計	6	4			2	478	55		40,341
火	0～6	3			1	2				503
	6～12	1				1				
	12～18	4	2			2	100			18,594
	18～24									
	不 明									
	計	8	2		1	5	100			19,097
水	0～6	1	1							2
	6～12	1				1				
	12～18	3		2		1			16	
	18～24	1	1				315			2,385
	不 明									
	合 計	6	2	2		2	315		16	2,387
木	0～6	2	1			1				410
	6～12	1		1					9	17
	12～18	4	1	2		1			7	3
	18～24	2	2				178			77,065
	不 明									
	合 計	9	4	3		2	178		16	77,495
金	0～6									
	6～12	3	2			1	338			3,703
	12～18	3				3				
	18～24	1	1				104			3,724
	不 明									
	合 計	7	3			4	442			7,427
土	0～6	1	1							8
	6～12	3				3				
	12～18	3	3				70	13		5,850
	18～24									
	不 明									
	合 計	7	4			3	70	13		5,858
不 明										

曜日別火災発生件数



時間別火災発生件数



気象別火災発生状況

(令和7年中)

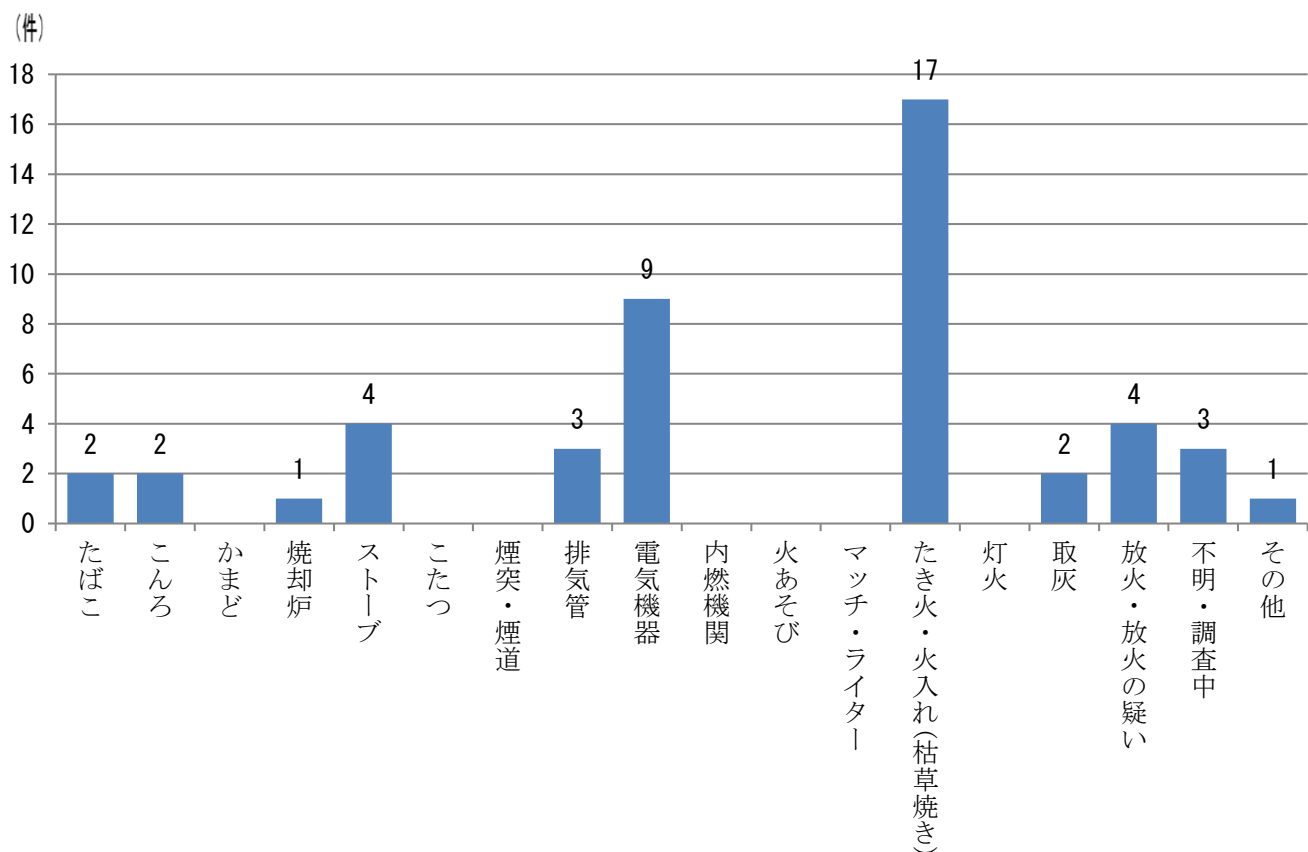
		火災件数（件）					損 害 見 積 額 （ 千 円 ）						
		合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発
風 速	2 m未満	20	11	1	2	6	97,064	50,304	46,102		631	27	
	2 m～ 3 m	17	5	2		10	52,741	46,521	5,831		51	338	
	3 m～ 5 m	7	2	1	1	3	2,822	2,380	270		50	122	
	5 m～ 7 m	4	1	2		1	44	5	39				
	7 m～10m												
	10m以上												
	不明												
	合 計	48	19	6	3	20	152,671	99,210	52,242		732	487	
湿 度	40%未満	4		3		1							
	40%～50%	4				4							
	50%～60%	14	5	2	1	6	19,445	7,694	11,579		50	122	
	60%～70%	4	2			2	47	5	42				
	70%～80%	6	4			2	52,309	46,237	5,705		51	316	
	80%～90%	4	1		1	2	2,421	2,262	121		16	22	
	90%以上	12	7	1	1	3	78,449	43,012	34,795		615	27	
	不明												
	合 計	48	19	6	3	20	152,671	99,210	52,242		732	487	
天 候	晴	28	5	5	2	16	19,487	7,415	11,858		66	148	
	曇	17	11	1	1	4	129,497	88,187	40,314		666	330	
	雨	2	2				3,679	3,608	62			9	
	霧												
	雪	1	1				8		8				
	不明												
	合 計	48	19	6	3	20	152,671	99,210	52,242		732	487	
警 報 ・ 注 意 報 等	火災気象通報	19	4	4		11	19,000	7,415	11,448			137	
	乾燥・強風注意報												
	なし	15	9	1	2	3	97,105	86,073	10,054		682	296	
	その他	14	6	1	1	6	36,566	5,722	30,740		50	54	
	不明												
	合 計	48	19	6	3	20	152,671	99,210	52,242		732	487	

火災原因別状況

(令和7年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見 積 額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たばこ	2				1	1								
こんろ	2								1			1		459
かまど														
焼却炉	1								1					29,908
ストーブ	4				1						1	2		50,916
こたつ														
煙突・煙道														
排気管	3	1					1						1	36
電気機器	9	1	1		2	1		1		1	1		1	63,451
内燃機関														
火あそび														
マッチ・ライター														
たき火・火入れ(枯草焼き)	17		1	2	3		3	6	1				1	2,802
灯火														
取灰	2				1							1		48
放火・放火の疑い	4				2			1					1	3
不明・調査中	3			2		1								17
その他	1												1	5,031
合計	48	2	2	4	10	3	4	8	3	1	2	4	5	152,671

火災原因別件数



救急概要

(令和7年中)

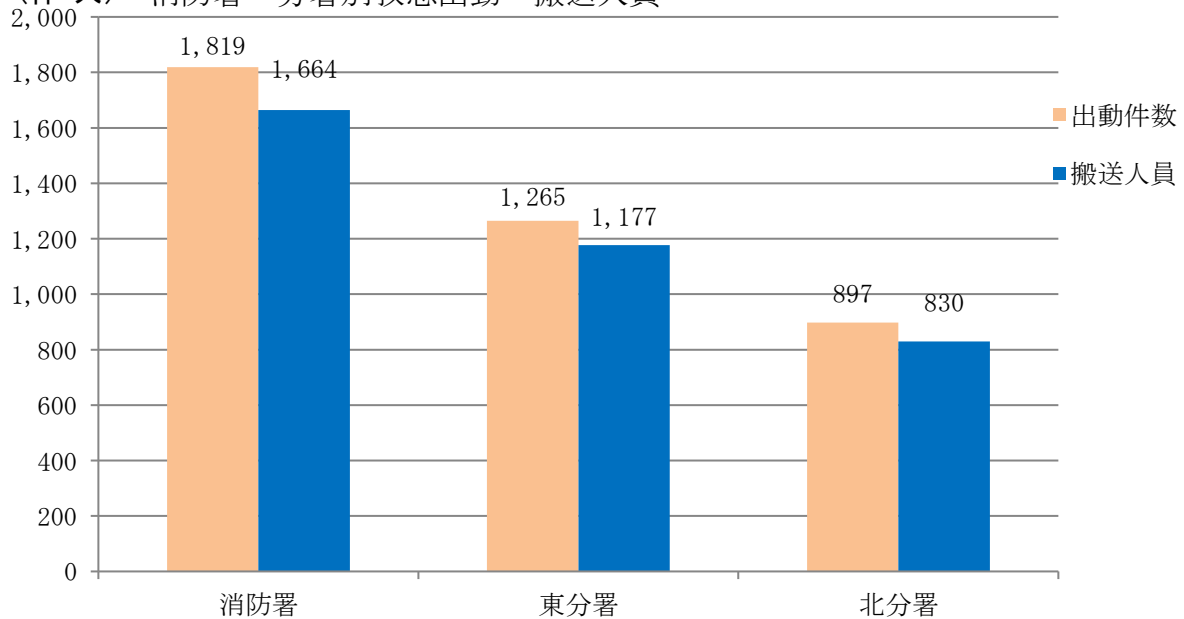
出 動 件 数 （ 件 ）			令 和 7 年	令 和 6 年	前 年 比 （ △ 減 ）
			3,981	3,984	△ 3
事 故 種 別	火 災		51	48	3
	自 然 災 害				
	水 難		1	2	△ 1
	交 通		244	293	△ 49
	労 働 災 害		50	54	△ 4
	運 動 競 技		15	23	△ 8
	一 般 負 傷		602	624	△ 22
	加 害		13	10	3
	自 損 行 為		39	38	1
	急 病		2,715	2,666	49
	そ の 他	転 院 搬 送	190	163	27
		医 師 搬 送	12	15	△ 3
		資 材 搬 送			
		そ の 他	49	48	1
搬 送 人 員			3,671	3,698	△ 27
不 搬 送			344	331	13
1 か 月 平 均 出 動 件 数 （ 件 ）			332	332	
1 日 平 均 出 動 件 数 （ 件 ）			10.91	10.89	0.02
平 均 現 着 所 要 時 間 （ 分 ）			9.37	9.36	0.01

署・分署別救急活動状況

(令和7年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
消防署	出動件数 (件)	10		1	104	18	9	297	10	19	1,235	116	1,819
	搬送人員 (人)	2			100	18	8	283	10	13	1,137	93	1,664
東分署	出動件数 (件)	20			87	18	4	193	3	9	889	42	1,265
	搬送人員 (人)	4			96	18	4	185		6	845	19	1,177
北分署	出動件数 (件)	21			53	14	2	112		11	591	93	897
	搬送人員 (人)	2			54	14	2	109		9	562	78	830
合計	出動件数 (件)	51		1	244	50	15	602	13	39	2,715	251	3,981
	搬送人員 (人)	8			250	50	14	577	10	28	2,544	190	3,671

(件・人) 消防署・分署別救急出動・搬送人員



月別救急活動状況

(令和7年中)

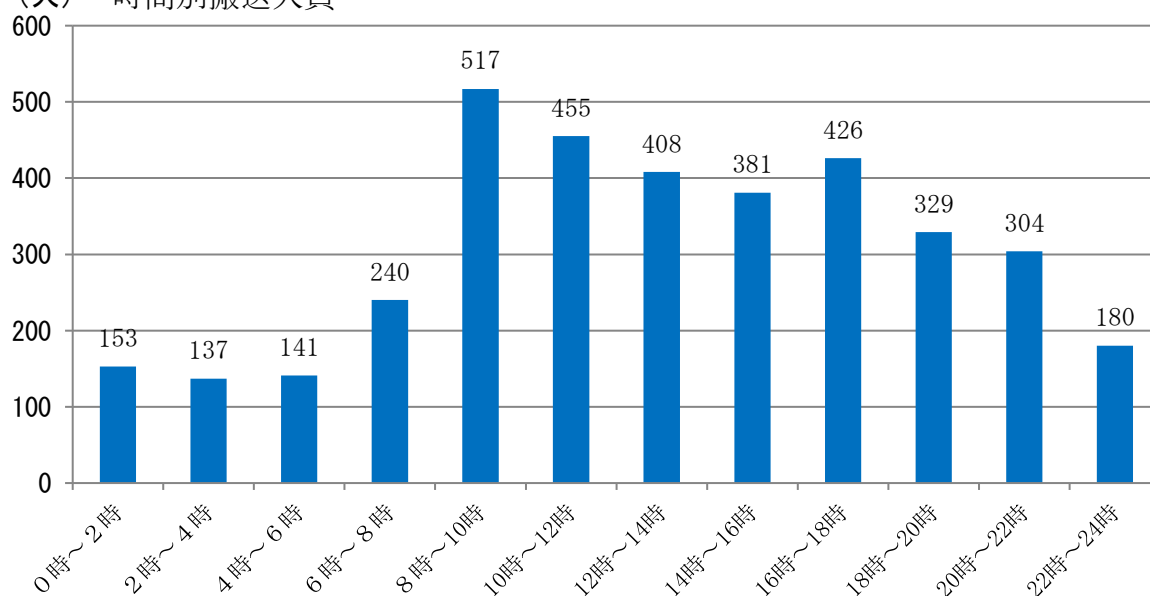
		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数（件）	2			21	4		53	3	3	288	25	399
	搬送人員（人）	1			23	4		49	1	1	272	21	372
2月	出動件数（件）	2			20			50	2	2	259	24	359
	搬送人員（人）				21			49	1	1	242	14	328
3月	出動件数（件）	4			20	4		51		3	224	14	320
	搬送人員（人）				20	4		50		3	215	9	301
4月	出動件数（件）	8			17	2		40	1	3	193	16	280
	搬送人員（人）	1			18	2		40	1	2	179	11	254
5月	出動件数（件）	5		1	18		1	37	2	6	198	21	289
	搬送人員（人）				20		1	37	2	4	181	17	262
6月	出動件数（件）	5			16	7		51		3	219	23	324
	搬送人員（人）				17	7		51		2	210	17	304
7月	出動件数（件）	7			22	15	2	46		2	251	24	369
	搬送人員（人）	2			22	15	2	45		2	237	18	343
8月	出動件数（件）	5			28	3	2	52	3	3	236	21	353
	搬送人員（人）	1			24	3	2	50	3	2	216	13	314
9月	出動件数（件）	2			16	4	4	57		1	222	23	329
	搬送人員（人）				15	4	4	52		1	209	19	304
10月	出動件数（件）	3			18	5	1	42	1	4	186	19	279
	搬送人員（人）	1			18	5	1	40	1	3	178	18	265
11月	出動件数（件）	3			19	3	2	52		5	191	22	297
	搬送人員（人）	1			22	3	1	49		4	176	15	271
12月	出動件数（件）	5			29	3	3	71	1	4	248	19	383
	搬送人員（人）	1			30	3	3	65	1	3	229	18	353
合計	出動件数（件）	51		1	244	50	15	602	13	39	2,715	251	3,981
	搬送人員（人）	8			250	50	14	577	10	28	2,544	190	3,671

時間別事故種別搬送人員

(令和7年中)

	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
0時～2時				3			26		3	118	3	153
2時～4時				1	1		24	2	1	107	1	137
4時～6時				4	1		19	1	1	114	1	141
6時～8時				14	1		36		3	186		240
8時～10時				42	11		80		2	351	31	517
10時～12時	2			31	10	7	74	1	5	285	40	455
12時～14時	2			24	5	5	61	1	2	276	32	408
14時～16時				42	10	1	63		1	239	25	381
16時～18時	1			45	5		73	1	4	266	31	426
18時～20時				23	2		48	1	1	242	12	329
20時～22時	1			19	4	1	51	2	2	212	12	304
22時～24時	2			2			22	1	3	148	2	180
合 計	8			250	50	14	577	10	28	2,544	190	3,671

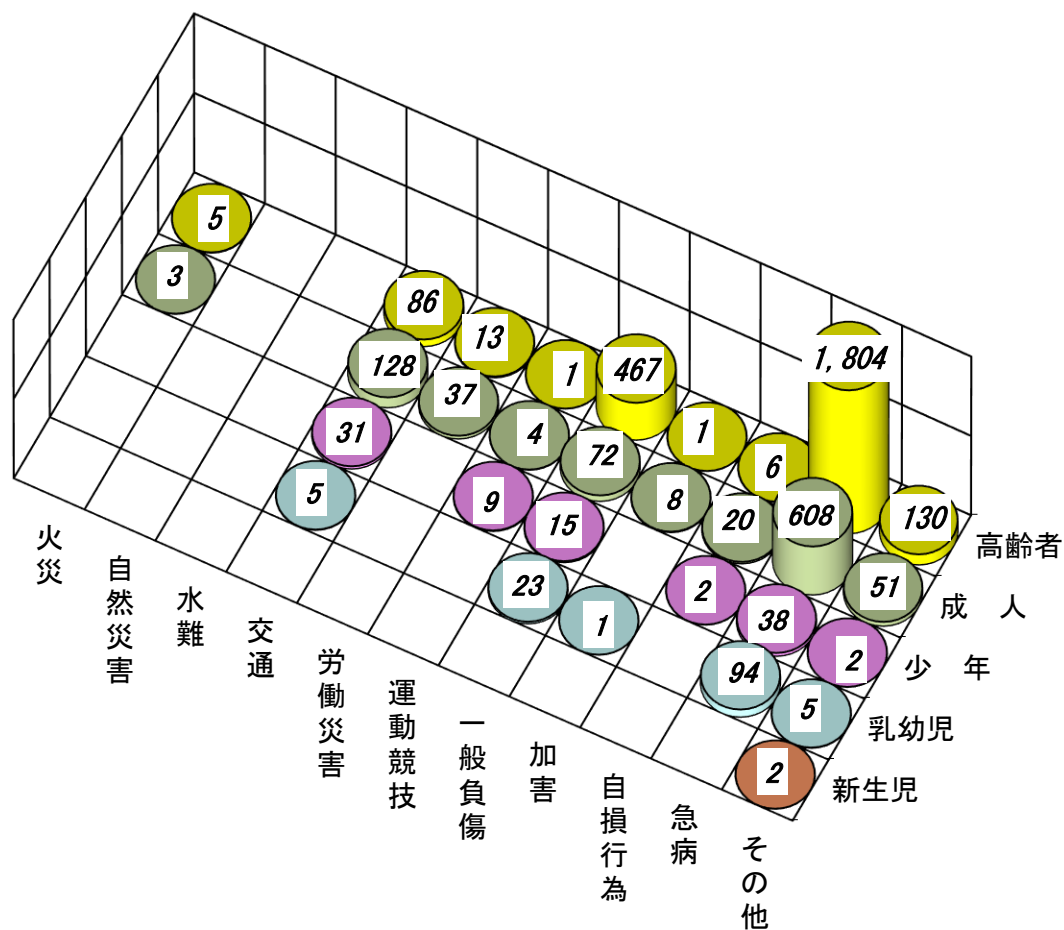
(人) 時間別搬送人員



年齢区分別事故種別搬送人員

(令和7年中)

	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
新生児											2	2
乳幼児				5			23	1		94	5	128
少 年				31		9	15		2	38	2	97
成 人	3			128	37	4	72	8	20	608	51	931
高齢者	5			86	13	1	467	1	6	1,804	130	2,513
合 計	8			250	50	14	577	10	28	2,544	190	3,671



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(令和7年中)

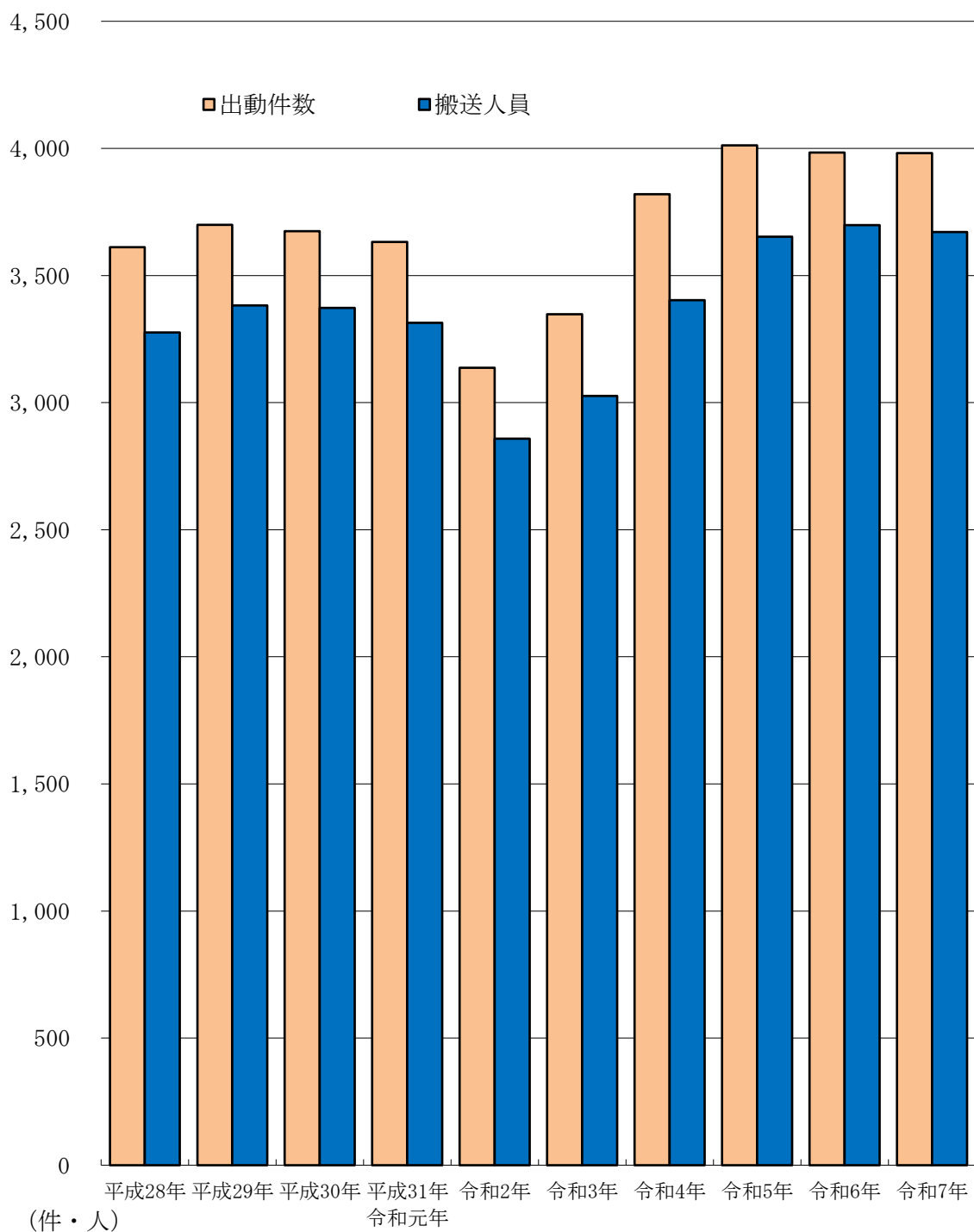
傷病程度		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡	男性	1						1			23		25
	女性							3			15		18
	計	1						4			38		43
重 症	男性	2			13	7		51		2	239	34	348
	女性				8	3		87		3	173	24	298
	計	2			21	10		138		5	412	58	646
中 等 症	男性	3			18	7	2	65		2	513	62	672
	女性				15			79	1	12	422	48	577
	計	3			33	7	2	144	1	14	935	110	1,249
軽 症	男性	2			121	27	9	156	6	9	628	12	970
	女性				75	6	3	135	3		531	10	763
	計	2			196	33	12	291	9	9	1,159	22	1,733
そ の 他	男性												
	女性												
	計												
合 計	男性	8			152	41	11	273	6	13	1,403	108	2,015
	女性				98	9	3	304	4	15	1,141	82	1,656
	合計	8			250	50	14	577	10	28	2,544	190	3,671

傷病程度別年齢区分搬送人員

(令和7年中)

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合計
死 亡				6	37	43
重 症		2	1	78	565	646
中 等 症	2	35	16	276	920	1,249
軽 症		91	80	571	991	1,733
そ の 他						
合 計	2	128	97	931	2,513	3,671

過去10年間における救急出動の推移



	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数	3, 611	3, 699	3, 674	3, 632	3, 137	3, 348	3, 820	4, 012	3, 984	3, 981
搬送人員	3, 276	3, 382	3, 373	3, 314	2, 858	3, 026	3, 403	3, 653	3, 698	3, 671

救急講習実施状況

	市民救命士養成講座		応急手当普及員(人)
	開催回数	市民救命士(人)	
平成15年度	46	825	
平成16年度	51	619	
平成17年度	62	923	52
平成18年度	81	1,135	
平成19年度	78	1,029	27
平成20年度	69	1,065	
平成21年度	73	1,311	
平成22年度	84	1,241	55
平成23年度	82	1,387	44
平成24年度	116	1,249	28
平成25年度	96	2,001	98
平成26年度	107	2,100	62
平成27年度	140	2,825	
平成28年度	151	3,243	46
平成29年度	136	2,636	23
平成30年度	111	2,179	43
平成31年度 令和元年度	97	1,133	
令和2年度	41	542	11
令和3年度	66	894	
令和4年度	126	1,616	34
令和5年度	86	1,187	27
令和6年度	97	1,559	16
令和7年度	75	1,330	19
合 計	2,071	34,029	585

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(令和7年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況		
	火 災	交 通 事 故	水 難	風 自然 水 災害 害 等	機 械 に よる 事 故	建 物 に よる 事 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ の 他 故	合 計	出 動 隊 数	活 動 件 数	救 助 人 員
1 月	2					3				5	17	2	
2 月	1	2				5			1	9	26	5	4
3 月		1				2			1	4	10		
4 月	3	1				5			2	11	35	6	5
5 月	3	3	1			2			1	10	35	1	
6 月	1					3				4	13	1	1
7 月	4	1				3				8	33	4	
8 月	2	2				5			1	10	29	7	2
9 月	1	1				1			2	5	17	2	1
10 月	2	1			1	3				7	27	5	2
11 月	2	1				2				5	21	4	2
12 月	2	3				1				6	27	3	1
合 計	23	16	1		1	35			8	84	290	40	18

2 救助活動状況（前年との比較）

年 及 比	別 出 動 件 数 及 救 助 人 員 比 較	事 故 種 別									合 計
		火 災	交 通 事 故	水 難	風 自然 水 災害 害 等	機 械 に よる 事 故	建 物 に よる 事 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ の 他 故	
令和7年	出動件数（件）	23	16	1		1	35			8	84
	救助人員（人）		4				9			5	18
令和6年	出動件数（件）	17	31	2		1	26	1		14	92
	救助人員（人）		18	2		1	7			8	15
前 年 比	出動件数（件）	6	△ 15	△ 1			9	△ 1		△ 6	△ 8
	救助人員（人）		△ 14	△ 2		△ 1	2			△ 3	△ 18

(△印は前年より減少)

【予 防】

防火対象物の状況

(令和7年度)

項別防火対象物			防火対象物数				防火管理者選任義務数			
			消防署	東分署	北分署	合計	消防署	東分署	北分署	合計
1	イ	劇場等	1	1	1	3	1			1
	ロ	集会所等	68	29	29	126	25	16	20	61
2	イ	キャバレー等	2			2	1			1
	ロ	遊技場等	3	1	1	5	3		1	4
	ハ	性風俗店等								
	ニ	カラオケボックス等	1	1		2	1	1		2
3	イ	待合・料理店	4			4	4			4
	ロ	飲食店	124	28	44	196	67	10	12	89
4		百貨店等	99	35	49	183	67	22	29	118
5	イ	旅館等	19	8	14	41	11	1	8	20
	ロ	共同住宅等	627	361	61	1,049	35	22		57
6	イ	病院等	31	10	10	51	6		2	8
	ロ	福祉施設等	14	19	5	38	13	16	5	34
	ハ	口以外	44	25	15	84	23	12	8	43
	ニ	幼稚園等	3	2		5	3	2		5
7		学校等	14	11	6	31	14	11	6	31
8		図書館等	6	1	3	10	4	1	2	7
9	イ	蒸気浴場等								
	ロ	一般浴場	1	1	1	3		1		1
10		車両停車場			2	2				
11		神社等	44	22	63	129	18	11	16	45
12	イ	工場等	126	159	121	406	6	39	2	47
	ロ	スタジオ								
13	イ	車庫等	61	4	12	77				
	ロ	格納庫								
14		倉庫	155	91	97	343		4	1	5
15		前各項以外	358	121	287	766	65	32	26	123
16	イ	特定複合用途	260	61	47	368	120	36	12	168
	ロ	イ以外	184	38	47	269	12	4	3	19
17		文化財	4	3	3	10			2	2
18		アケード	5			5				
合計			2,258	1,032	918	4,208	499	241	155	895

建築同意事務 指導別件数

(令和7年度)

		新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模様替え	用途変更	その他	合 計
管内申請件数	指導あり	38	19		1			2		60
	指導なし	30	2							32
	合 計	68	21		1			2		92

建築同意事務業態別棟別件数

(令和7年度)

項		防 火 対 象 物	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模様替え	用途変更	その他	合 計
1	イ	劇 場 等									
	ロ	集 会 所 等	1	1							2
2	イ	キ ャ バ レ ー 等									
	ロ	遊 技 場 等									
	ハ	性 風 俗 店 等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	待 合 ・ 料 理 店									
	ロ	飲 食 店									
4		百 貨 店 等	2	1							3
5	イ	旅 館 等	3	1							4
	ロ	共 同 住 宅 等	27								27
6	イ	病 院 等		1							1
	ロ	福 祉 施 設 等									
	ハ	ロ 以 外	1								1
	ニ	幼 稚 園 等									
7		学 校 等		4							4
8		図 書 館 等									
9	イ	蒸 気 浴 場 等									
	ロ	一 般 浴 場									
10		車 両 停 車 場									
11		神 社 等									
12	イ	工 場 等	3	4			1				8
	ロ	ス タ ジ オ									
13	イ	車 庫 等									
	ロ	格 納 庫									
14		倉 庫	5	4					1		10
15		前 各 項 以 外	1	2							3
16	イ	特 定 複 合 用 途	1	2					1		4
	ロ	イ 以 外									
17		文 化 財									
18		ア ー ケ ー ド									
専 用 住 宅 等			24	1							25
合 計			68	21			1		2		92

消防用設備等検査状況

(令和7年度)

消防用設備等		着工届出書	設置届出書	完成検査
消火設備	消火器		64	64
	屋内消火栓設備	4	7	6
	スプリンクラー設備（水道連結型含む）		3	3
	水噴霧消火設備		1	1
	泡消火設備			
	不活性ガス消火設備			
	ハロゲン化物消火設備			
	粉末消火設備	2	3	3
	屋外消火栓設備	2	5	6
	動力消防ポンプ設備			
警報設備	自動火災報知設備	60	130	138
	ガス漏れ火災警報設備			
	漏電火災警報器	2	2	2
	消防機関へ通報する火災報知設備	7	5	5
	非常警報器具・設備（ベル、サイレン）	8	15	13
	非常警報（放送）設備	5	7	6
避難設備	避難器具	16	19	19
	誘導灯	50	165	167
	誘導標識		35	32
消防用水		1	3	3
消火活動上 必要な施設	排煙設備			1
	連結散水設備			
	連結送水管	2	1	1
	非常コンセント設備			
	無線通信補助設備			
必要とされる 防火安全性能 を有する設備	パッケージ型消火設備	2	2	2
	パッケージ型自動消火設備			
	特定小規模施設用自動火災報知設備	2	2	2
	その他	1	2	2
合 計		164	471	476

危険物施設の状況

(令和7年度)

			製造所	貯蔵所						取扱所			合 計	
				屋内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋外	給油	販売		一般
許 可 施 設 数			21	77	82	4	51		41	6	53	3	57	395
数 量 別 数	5 倍以下			31	3	2	17		39	1	4		26	123
	5 倍を越え 10 倍 以下		3	23	11	1	14			3	5		14	74
	10倍を越え 50 倍 以下		6	13	26	1	15			2	17	3	14	97
	50倍を越え 100 倍 以下		4	2	17		2		1		5		1	32
	100 倍を越え 150 倍 以下		2	6	5		1		1		7			22
	150 倍を越え 200 倍 以下			1	8		2				4		1	16
	200 倍を越え 1,000 倍 以下		4	1	12						11		1	29
	1,000 倍 を 越えるもの		2											2
種 別	単 独	第 1 類												
		第 2 類												
		第 3 類												
		第 4 類	19	70	82	4	51		41	6	53	2	57	385
		第 5 類		1										1
		第 6 類												
	混 在		2	6								1		9

危険物申請の状況

(令和7年度)

		製造所	貯蔵所							取扱所			合計
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般	
許可	設置		1					2					3
	変更	17	1	2	1					4		7	32
完成	設置		1	2				2					5
	変更	17		2	1					4		4	28
廃止			1	2				2		1		1	7

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の件数

(令和7年度)

製造所	貯蔵所							取扱所			仮貯蔵	仮取扱	合計
	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般			
16	1	2	1					3		5		4	32

手数料徴収状況

(令和7年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
	21	151	72	1,133	512	66		1,955

(単位：千円)

火災予防条例等各種届出件数

(令和7年度)

届出種別	合計
防火対象物使用開始届出書	95
炉設置届出書	10
厨房設備設置届出書	
温風暖房機設置届出書	
ボイラー設置届出書	14
給湯湯沸設備設置届出書	2
乾燥設備設置届出書	7
簡易サウナ設備設置届出書	1
一般サウナ設備設置届出書	
ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	
火花を生ずる設備設置届出書	
放電加工機設置届出書	
燃料電池発電機設置届出書	
発電設備設置届出書	5
変電設備設置届出書	24
急速充電設備設置届出書	1
蓄電池設備設置届出書	11
ネオン管灯設備設置届出書	
水素ガスを充填する気球の設置届出書	
防火管理者選任（解任）届出書	197
消防計画作成（変更）届出書	223
消防訓練通知書	559
防火対象物点検結果報告書	68
消防用設備等点検結果報告書	1, 138
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書	41
防火管理に関する講習課程修了証明申請書	9
煙火打上げ仕掛け届出書	15
催物開催届出書	3
指定洞道等届出書	
喫煙等の承認申請書	4
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出書	57
椅子席固定免除又は客席避難通路特例適用申請書	43
火災予防上必要な業務に関する計画書	
露店等の開設届出書	202
少量危険物貯蔵取扱届出書	13
指定可燃物貯蔵取扱届出書	2
少量危険物等タンク検査申請書	
少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	11
指定可燃物貯蔵取扱廃止届出書	2
その他の届出	40
合計	2, 797

立入検査実施状況

(令和7年度)

種別	実施数
指定文化財立入検査	24
防火対象物立入検査	248
危険物施設立入検査	36

防火指導状況

(令和7年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	9月1日～12月12日	75回 785軒
自治会等	安心安全講座	随時	29回 1,549人
防火対象物	消防訓練指導	随時	105回 6,712人
	甲種防火管理講習（新規）	7月2日/3日、11月5日/6日	2回 101人
	甲種防火管理講習（再講習）	11月20日	13人
その他	消防署見学	随時	3,094人
	起震車体験会	10月6日～10月10日 10月20日～10月22日 11月25日～11月28日	31園 698人

(令和7年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	初級 6月14日/6月21日	2回 66人
		中級 6月21日	25人

広報活動状況

(令和7年度)

広報活動内容	回数
1 巡回広報	111
2 街頭広報	2
3 有線利用による広報	6
4 報道機関への情報提供	11
5 固定放送設備による広報	6
6 ホームページによる広報	92

幼年消防クラブ活動状況

(令和7年度)

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	15	1,520人
こども園	12	1,422人
幼 稚 園	4	213人
そ の 他	5	115人

実施事業

(令和7年度)

実施事業	内 容
幼年消防クラブ指導者研修会	子どもの熱中症と水難事故に関する研修、救急講習
巡回防火教室	防火の話、消防車との記念撮影
起震車体験会	起震車による地震体験、煙体験、防火ビデオ上映
出初式（防火防災パレード）	分列行進前の防火防災パレード

福知山市防災センター来館者状況

(令和7年度)

合計	防災センター	防災広場のみ
7,661	7,099	562

【通信】

覚知別集計

(令和7年中)

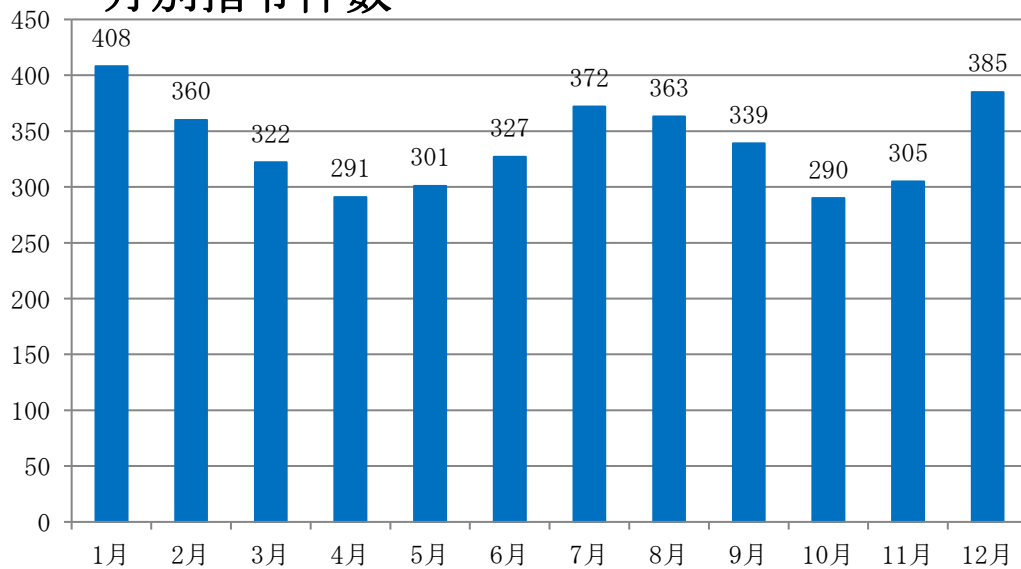
	災 害 区 分	件 数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	番付電話 (ペンダント)	駆け付け	自己覚知	事後聞知	その他
火 災	建 物	16	2	13	1						
	車 両	3		3							
	林 野	7		5	2						
	そ の 他	22	2	17	3						
	小 計	48	4	38	6						
救 急	火 災	1							1		
	自 然 災 害										
	水 難										
	交 通	198	2	183	5	5					3
	労 働 災 害	46	2	33	10				1		
	運 動 競 技	14		10	3				1		
	一 般 負 傷	592	93	332	153	7	4	1	1		1
	加 害	13	1	6	4	1					1
	自 損	35	2	20	11	2					
	急 病	2,685	407	1,567	662	30	13	5	1		
	転 院 搬 送	188	47	17	28	96					
	医 師 搬 送	3		2							1
	資 材 搬 送										
	そ の 他	19		3		1			1		14
	小 計	3,794	554	2,173	876	142	17	6	6		20
救 助	火 災										
	交 通 事 故	16		10	1	1					4
	水 難 事 故	1				1					
	自 然 災 害										
	機 械 事 故	1		1							
	建 物 事 故	35	2	25	3	4	1				
	ガ ス ・ 酸 欠										
	そ の 他	8		7		1					
	小 計	61	2	43	4	7	1				4
警 戒	自火報発報	28	8	16	1	3					
	怪煙調査	19		12	1	6					
	油 漏 れ	18		9	1	2					6
	ガ ス 漏 れ										
	自 然 災 害										
	異 臭 調 査										
	そ の 他	51	6	30	4	3	5		1		2
	小 計	116	14	67	7	14	5		1		8
調 査	自火報発報	11	2	5		4					
	油 漏 れ										
	た き 火	13		5		8					
	自 然 災 害										
	事 後 聞 知	10		2		7				1	
	捜 索										
	そ の 他	10	1	6		2			1		
	小 計	44	3	18		21			1	1	
そ の 他	問 い 合 わ せ	197	29	131	35	2					
	応 答 な し	34		29	4		1				
	い た ず ら	37	27	10							
	119 試 験	373	249	103	10	1		10			
	通 報 訓 練	380	134	50	196						
	重 複	261	47	168	40	4	2				
	ま ち が い	344	63	256	20		2				3
	取 り 消 し	53	8	33	8		1				3
	そ の 他	127	11	40	5						71
	小 計	1,806	568	820	318	7	6	10			77
合 計			1,145	3,159	1,211	191	29	16	8	1	109

月別指令状況

(令和7年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	2	2	4	8	5	5	7	5	2	3	3	2	48
救 急	390	336	305	263	276	306	352	329	320	268	283	366	3,794
救 助	3	8	4	8	7	3	4	7	4	5	3	5	61
警 戒	10	9	7	6	10	11	8	19	11	9	10	6	116
調 査	3	5	2	6	3	2	1	3	2	5	6	6	44
合 計	408	360	322	291	301	327	372	363	339	290	305	385	4,063

(件) 月別指令件数



ドクターヘリ要請件数

(令和7年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	1	1		2	2		1	1	2		1	1	12

【消防団】

消防団の沿革

(令和 8 年 4 月 1 日)

○昭和 22 年 11 月 1 日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】 6 分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉） 団員 697 名、ポンプ車 6 台、手引ガソリンポンプ 12 台
○昭和 23 年 8 月 12 日	団長 石坪一久 就任
○昭和 24 年 4 月 1 日	3 村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により 9 分団となり、消防団員条例定員 1,000 人、実員 1,123 人となる。 ポンプ車 5 台、ガソリンポンプ 21 台、腕用ポンプ 45 台の消防力となる
〃 10 月 1 日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団員条例定員 1,000 人、実員 1,053 人
○昭和 30 年 4 月 1 日	8 村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数 16、消防団員条例定員及び実員 1,850 人、ポンプ車 7 台、手引ポンプ 45 台、可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 60 台の消防力となる
〃 4 月 6 日	団長 足立秀夫 就任
〃 9 月 30 日	上豊富分団が京都府知事表彰調査を受検し、12 月 22 日に表彰旗を授与された
○昭和 31 年 9 月 30 日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人 【消防団の勢力】17 分団、定員 1,780 人、実員 1,775 人 ポンプ車 8 台、手引ポンプ 43 台、可搬ポンプ 23 台、腕用ポンプ 60 台
○昭和 33 年 3 月 7 日	自治体消防発足 10 周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7 月 1 日	団長 藤原定治 就任
○昭和 35 年 11 月 20 日	上川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 37 年 1 月 6 日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4 月 8 日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和 38 年 4 月 1 日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和 40 年 10 月 1 日	消防団員条例定員 1,400 人、実員 1,388 人
○昭和 42 年 4 月 1 日	団長 芦田太郎 就任
○昭和 44 年 4 月 1 日	【消防団の勢力】17 分団、定員 1,400 人、実員 1,359 人 消防ポンプ自動車 9 台、手引ポンプ 8 台、小型動力ポンプ 65 台
○昭和 45 年 7 月 3 日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始 西中分団、修斉分団、上六分団へ各 1 台配置
〃 10 月 5 日	下川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 46 年 11 月 1 日	下川婦人消防隊結成、隊員 47 名
○昭和 48 年 4 月 1 日	団長 森下文男 就任

○昭和 51 年 6 月 14 日 昭和 52 年 4 月 1 日	消防団本部を市役所庁舎へ移す（住所 福知山市字内記 13 番地の 1） 団長 大槻増次 就任
○昭和 53 年 8 月 22 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和 54 年 3 月 5 日 " 4 月 1 日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された 福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和 55 年 11 月 9 日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日に表彰旗を授与された
○昭和 56 年 4 月 1 日	団長 高橋昭治 就任
○昭和 57 年 10 月 31 日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 58 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 60 年 5 月 30 日 " 8 月 8 日 " 10 月 6 日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置 消防庁長官表彰を受検 於 市民第 2 グラウンド
	人 員 消防職員 85 名 消防団員 1,348 名 婦人消防隊 40 名 車 両 ポンプ車 10 台 積載車 36 台 小型動力ポンプ 34 台
○昭和 61 年 3 月 5 日 " 5 月 1 日 " 9 月 28 日	消防庁長官より表彰旗が授与された 団長 吉竹 孝一郎 就任 雀部分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 62 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 62 年 10 月 1 日	下六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 63 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○昭和 63 年 10 月 13 日 ~19 日 " 10 月 26 日 " 10 月 30 日	京都国体警備。内福知山市分 16~19 日 金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）出場 大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 64 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○平成 元年 10 月 15 日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 2 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 2 年 5 月 1 日 " 10 月 21 日	団長 関 宏躬 就任 修斉分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 3 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 3 年 4 月 1 日 " 10 月 13 日	消防団員条例定員 1,250 人、実員 1,214 人となる 三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 4 年 1 月 1 日表彰旗が授与された

○平成 4 年 8 月 31 日 " 11 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第 6 位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 5 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された
○平成 5 年 10 月 31 日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 6 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された
○平成 6 年 5 月 1 日 " 8 月 30 日 " 10 月 30 日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 7 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された
○平成 7 年 11 月 12 日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 8 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された
○平成 8 年 7 月 1 日 " 7 月 25 日 " 10 月 13 日	消防団員アルミックス防火衣を 129 着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 9 年 1 月 1 日表 彰旗が授与された
○平成 9 年 9 月 1 日 " 10 月 12 日	消防団員アルミックス防火衣を 185 着分支給 市制 60 周年（団発足 50 周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成 10 年 8 月 7 日 " 12 月 10 日 ~21 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11 年 7 月 1 日 " 9 月 9 日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12 年 5 月 1 日 " 8 月 6 日 " 11 月 23 日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第 5 位の成績を収める アプロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13 年 10 月 1 日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊 17 人、福知 山消防ファイヤーガード隊 13 人で発足
○平成 14 年 1 月 24 日 " 5 月 1 日 " 8 月 4 日 " 10 月 27 日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」が京都府知事を表敬訪問 団長 野田和則 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場 京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成 15 年 2 月 2 日に表彰旗が授与され た
○平成 15 年 11 月 20 日	自治体消防 55 周年記念大会参加
○平成 16 年 5 月 1 日 " 8 月 1 日	団長 岸田正一 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成 18 年 1 月 1 日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、 新しい「福知山市消防団」となる
	【消防団の勢力】

	団 長 岸田正一 団本部ほか 29 分団、定員 2,160 人、実員 2,065 人 消防ポンプ自動車 12 台 小型動力ポンプ付積載車 11 台 小型動力ポンプ付軽積載車 77 台 小型動力ポンプ 89 台
○平成 18 年 8 月 6 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成 19 年 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成 20 年 4 月 1 日	団長 足立秀幸 就任
〃 7 月 27 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成 22 年 4 月 1 日	団長 山田浩和 就任
〃 7 月 1 日	三和支所、夜久野支所、大江支所に支所消防隊を設置
〃 8 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場
〃 9 月 18 日	総務省消防庁より雲原分団に救助資機材搭載型車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
○平成 24 年 3 月 21 日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定
〃 5 月 1 日	消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す
〃 8 月 5 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部及び小型ポンプの部に、大正分団が出場
○平成 25 年 4 月 1 日	金山分団及び川合分団に機能別消防団員が発足
〃 10 月 20 日	細見分団が京都府消防協会会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 26 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
〃 11 月 25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
○平成 26 年 2 月 9 日	京都府知事から、消防団 120 年・自治体消防制度 65 周年記念知事表彰が授与された
〃 2 月 15 日	総務省消防庁より河守分団に消防ポンプ付き軽自動車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
〃 3 月 4 日	総務省消防庁より消防団拠点資材等セット一式の無償貸与を受ける
〃 4 月 1 日	団長 塩見辰也 就任
〃 8 月 3 日	三岳分団に機能別消防団員が発足 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団、小型ポンプの部に河守上分団が出場し、上川分団が第 3 位の成績を収める
○平成 27 年 4 月 1 日	消防団簡易デジタル無線運用開始
〃 11 月 25 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 28 年 4 月 1 日	団長 片岡幸基 就任
〃 7 月 31 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に細見分団、小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 12 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 29 年 10 月 21 日	ふくちやまファイヤーエンジェルスが、京都府知事から京都府あけぼの賞を授与された
〃 12 月 5 日	公益財団法人日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両の寄贈を受ける

○平成 30 年	2 月 8 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃	4 月 1 日	団長 池澤 徹 就任
〃	7 月 29 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃	9 月 18 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 31 年	2 月 13 日	平成 30 年 7 月豪雨時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
〃	3 月 5 日	公益財団法人日本消防協会優良消防団表彰「特別表彰まとい」を受賞
令和元年	9 月 20 日	平成 30 年 7 月豪雨時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○令和 2 年	4 月 1 日	消防団員条例定員 1,780 人、実員 1,652 人となる
〃	5 月 24 日	新型コロナウイルス感染症の拡大により福知山市消防操法大会中止
〃	10 月 1 日	雲原分団に機能別消防団員が発足
○令和 3 年	1 月 10 日	活動服を更新、全団員に貸与
〃	6 月 6 日	新型コロナウイルス感染症の拡大により福知山市消防操法大会中止
○令和 4 年	4 月 1 日	団長 小谷 晴昌 就任
〃	8 月 28 日	条例改正により、消防団員の年額報酬を改定し、出動報酬を創設 京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場し、第 6 位の成績を収める
○令和 5 年	1 月 8 日	高視認性レインウェアを配備、全団員に貸与
〃	3 月 29 日	条例改正により、消防団員の任命条件を一部改正 「本市に居住し、在学し、又は勤務する者。ただし、団長が特に必要があると認める者については、この限りでない」とする
〃	4 月 1 日	全分団機能別消防団員制度の要綱を作成 西中分団、下夜久野分団、河西分団及び河東分団で運用開始
○令和 6 年	4 月 1 日	新型防火衣、ヘルメット（しころ付き）を 508 着整備、全分団に配備し運用開始 三和ブロックの細見分団と川合分団が統合し、細見川合分団が発足、1 団 6 ブロック 28 分団体制となる 上夜久野分団、河守分団で機能別消防団員を運用開始
〃	5 月 1 日	中夜久野分団で機能別消防団員を運用開始
〃	7 月 1 日	河守上分団で機能別消防団員を運用開始
〃	8 月 25 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に佐賀分団が出場し、第 6 位の成績を収める
○令和 8 年	4 月 1 日	庵我分団で機能別消防団員を運用開始

消防団員・消防団車両配置表

(令和8年4月1日)

			基 本 団 員										機 能 別 団 員	車 両 等		
ブ ロ ッ ク	分 団 名	合 計	団 長	※ 副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 長	指 導 部 長	本 部 班 長	部 長	班 長	団 員		積 載 車	軽 積 載 車	そ の 他 の 車 両
団本部		7	1	6												1
ファイヤー エンジェルス	ファイヤーガード隊	4								1	1	2				
	カラーガード隊	8								1		7				
中 部	中 央	67	(1)		1	1	1	1	1	6	11	45		6		
	大 正	39			1	1	1	1	1	2	4	28		2		
	庵 我	68			1	1	1	1	1	3	7	50	3	2	1	
	修 斉	80			1	1	1	1	1	4	10	61		4		
	上 豊	90			1	1	1	1	1	2	6	77		3		
東 部	雀 部	39	(1)		1	1	1	1	1	3	3	28		3		
	西 中	66			1	1	1	1	1	5	5	50	1	4	1	
	上 六	42			1	1	1	1	1	2	4	31		2		
	中 六	37			1	1	1	1	1	2	4	26		1	1	
	下 六	46			1	1	1	1	1	4	4	33		4		
	佐 賀	28			1	1	1	1	1	2	4	17		2		
北 部	下 川	30	(1)		1	1	1	1	1	2	4	19		1	1	
	上 川	40			1	1	1	1	1	2	5	28		2	1	
	金 谷	38			1	1	1	1	1	2	4	27		2		
	三 岳	38			1	1	1	1	1	2	3	15	13	1	1	
	金 山	45			1	1	1	1	1	2	2	16	20		2	
	雲 原	45			1	1	1	1	1	2	2	13	23	2		
三 和	菟 原	46	(1)		1	1	1	1	1	3	3	35		3		
	細 見 川 合	68			1	1	1	1	1	5	6	48	4	5		
	三和支所消防隊	10										10		1		
夜 久 野	上 夜 久 野	67	(1)		1	1	1	1	1	4	9	30	19	3	1	
	中 夜 久 野	41			1	1	1	1	1	2	4	22	8	2		
	下 夜 久 野	34			1	1	1	1	1	3	6	18	2	3		
	夜久野支所消防隊	17										17				
大 江	河 守	64	(1)		1	1	1	1	1	5	7	45	2	2	2	
	河 守 上	43			1	1	1	1	1	1	3	30	4	2		
	河 西	34			1	1	1	1	1	2	4	19	4	1	1	
	河 東	31			1	1	1	1	1	2	6	15	3	1	1	
	有 路 上	47			1	1	1	1	1	2	4	36		1	1	
	有 路 下	28			1	1	1	1	1	2	4	17		1	1	
	大江支所消防隊	5										5			1	
合 計		1,392	1	6	28	28	28	28	28	80	139	888	138	66	16	1

※ 団本部の副団長は各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(令和8年4月1日)

年 齢 別	合 計	平 均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人 員	1,392	47.10		46	249	538	445	114

在職年数別消防団員数

(令和8年4月1日)

年 数 別	合 計	5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上 25 年 未 満	25 年 以 上 30 年 未 満	30 年 以 上
人 員	1,392	184	145	250	229	296	143	145

【水 防】

水防の概要

第1 福知山市域を流れる河川

福知山市域を流れる河川で、国、京都府及び福知山市が管理する河川（普通河川）は次のとおりです。

(令和8年4月1日現在)			
国が管轄するもの（1級河川）	2河川	旧夜久野	78河川
京都府が管轄するもの（1級河川）	49河川	旧大江	64河川
福知山市が管轄するもの（準用、普通河川）	379河川	旧三和	91河川
延	430河川	旧福知山	146河川
		延	379河川

第2 由良川水系の現況

由良川は、京都府・滋賀県・福井県の府県境に位置する三国岳を源流とし、南丹市、京丹波町及び綾部市の山間部並びに福知山盆地を経て日本海へ注ぐ河川です。高屋川、上林川、土師川等と合流し、その流域面積は京都府及び兵庫県にまたがる約1,880 k m²です。由良川水系は、丹波地域における治水・利水の両面で重要な役割を担っています。

第3 現状の課題と方針

福知山市では、平成25年台風第18号災害、平成26年8月豪雨災害、平成29年台風第21号災害、平成30年7月豪雨災害、令和5年台風第7号災害等、10年間で5度もの大規模な災害が発生していますが、近年の豪雨災害は、気象変動の影響により局地化・激甚化する傾向が指摘されており、短時間強雨の発生によって被害がより深刻化することが懸念されます。

平成26年の8月豪雨災害以降、「総合的な治水対策」として国土交通省、京都府および福知山市が設立した「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」では、内水氾濫の被害をふまえ河川管理者と下水道管理者が一体となって総合的な治水対策案を取りまとめ、平成27年度に内水ハザードマップを作成（福知山市）し、排水機場の整備や排水ポンプ車ピット新設（国土交通省）、調節地の整備や河川改修（京都府）、ポンプ場のポンプ増強や調整池及びため池の改良（福知山市）など、国・府・市が一体となって総合的な内水対策が実施され、令和3年度には福知山市域における「由良川緊急治水対策」（国土交通省）が完成しました。

内水氾濫対策は継続して実施されていますが、今後の課題としては、地区（自治体）ごとの災害リスク（内水氾濫、土砂災害等）に応じた、ハード対策（危機管理型水位計及び水位センサーの整備）とソフト対策（マイマップ及びマイタイムラインの作成）の双方が重要となっています。

第4 水害の特徴

福知山市における水害として、由良川などの堤防破堤や溢流による外水氾濫と、内水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。

福知山市が位置する福知山盆地は、低平地が広がり、由良川と牧川の合流点付近では標高12mに過ぎません。そのため、由良川等の堤防が決壊した場合、市街地全域に浸水被害が発生するおそれがあります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため人的被害及び家屋被害等が生じる危険性が高く、さらに水位が低下するまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大と長期化が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や周りから水が集まりやすい凹地等です。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地および旧河道等です。このような地形では、雨水が滞留しやすく、浸水被害が発生しやすくなります。

第5 近年の主な水害

平成16年の台風第23号では、総雨量279mm、由良川水位は最高水位7m55cmに達しました。さらに平成25年の台風第18号では、総雨量216mm、由良川水位は最高水位8m30cmを観測し、由良川流域の広範囲で浸水が発生しました。家屋、耕地及び主要道路に被害が及ぶとともに、山間部では崖崩れが発生しました。

平成26年8月豪雨では、福知山市において24時間雨量300mm超を観測し、平年8月の月降水量の約2.5倍に達しました。由良川では一時的に氾濫危険水位を超過したほか、内水氾濫により市街地を中心に広範囲で冠水し、約4,500戸が浸水しました。福知山市は、市内全域約8万人に避難勧告を発令し、陸上自衛隊による災害派遣も実施されました。この豪雨により、JR福知山線及び山陰線が寸断されるなど、社会的にも極めて大きな影響を及ぼしました。

平成29年台風第21号では、総雨量200mm、由良川水位は最高水位7m39cmに達しました。、道路冠水により、由良川流域の一部地域が一時孤立するなど、広範囲にわたり大きな被害が生じました。

平成30年7月豪雨では、大雨特別警報が発表され、7月5日から7日にかけて広範囲で降雨が継続しました。総雨量は439mmに達し、由良川水位は氾濫危険水位を超える6m52cmを観測しました。平成26年8月豪雨と同様、都市排水能力を超過したことによる内水氾濫が発生し、市街地の広範囲で浸水被害が発生しました。また、森林保水能力を超える降雨により、山間部では多数の土砂災害が確認されました。

令和5年台風第7号では、24時間雨量370mm超を観測し、8月14日夜遅くから15日未明にかけて短時間（約6時間）で273mmの降雨を記録しました。記録的短時間豪雨の影響により、由良川水位上昇前から山間部において土砂崩れ及び土石流が発生し、流出した土砂によって河川が閉塞され、中小河川の氾濫につながりました。その結果、多数の土砂災害及び道路崩落が発生し、激甚災害に指定されました。

【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	死傷者 200 名
	倒壊流失家屋	371 戸

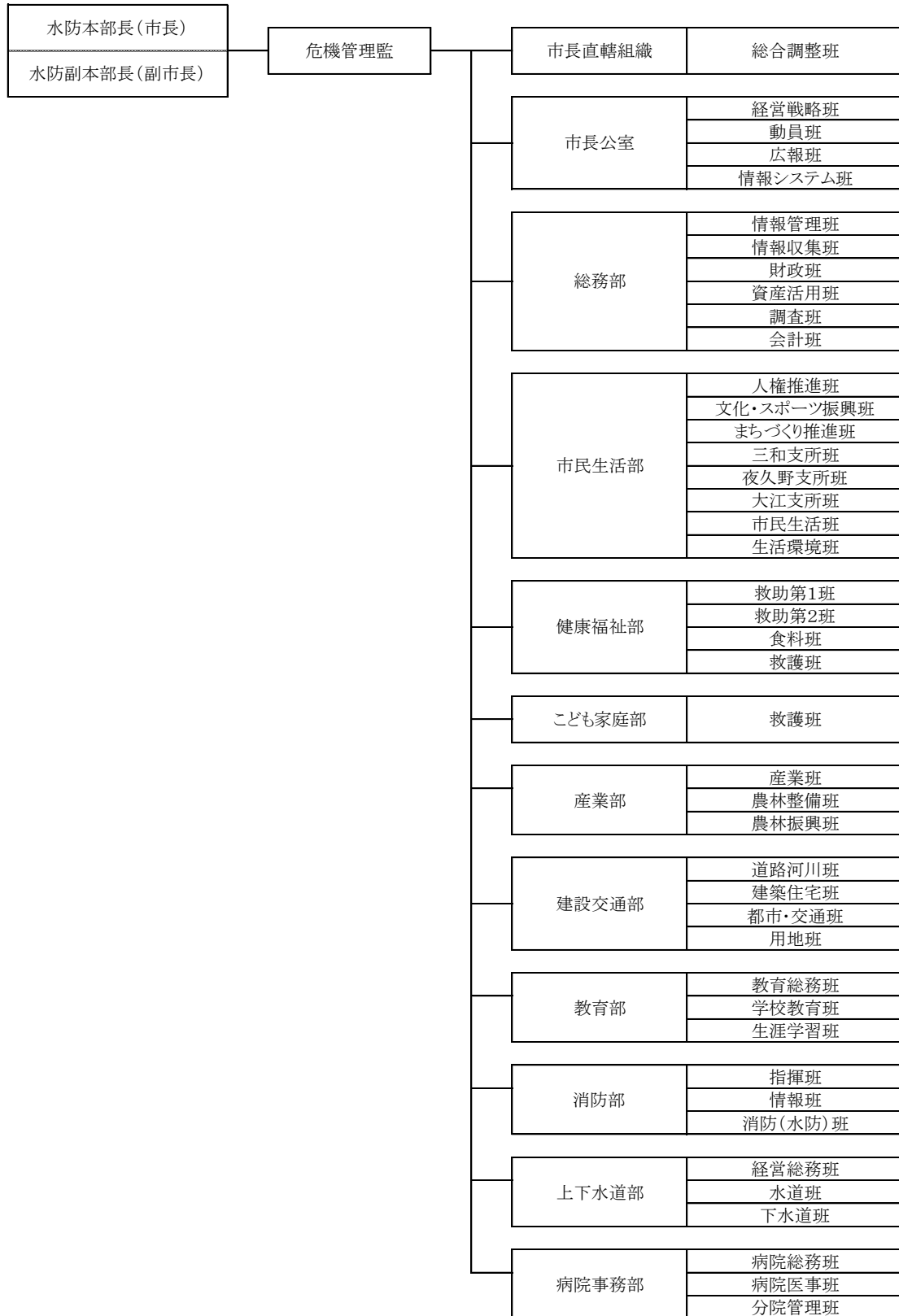
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m 倒壊流失家屋 350 戸
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m 死傷者 7 名 倒壊流失家屋 67 戸 浸水家屋 3,058 戸
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m 倒壊流失家屋 30 戸 浸水家屋 3,006 戸
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m 死傷者 5 名 総雨量 95.0mm 倒壊流失家屋 111 戸 浸水家屋 5,083 戸
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m 死傷者 792 名 総雨量 254.3mm 倒壊流失家屋 1,664 戸 浸水家屋 3,836 戸
昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 負傷者 26 名 総雨量 243.0mm 倒壊流失家屋 113 戸 浸水家屋 5,117 戸
昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm 死傷者 9 名 倒壊家屋 76 戸 浸水家屋 19 戸
平成 16 年 10 月 20 日 ～21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm 倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 63 戸 浸水家屋 844 戸
平成 25 年 9 月 16 日 (台風 18 号)	水 位 8.30m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊) 332 戸 浸水家屋 423 戸
平成 26 年 8 月 16 日 ～17 日 (8 月豪雨)	水 位 6.48m 総雨量 335.5mm 倒壊家屋 (全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊) 4,253 戸 浸水家屋 4,500 戸 死者 1 名 負傷者 1 名
平成 29 年 10 月 21 日 ～23 日 (台風 21 号)	水 位 7.39m 総雨量 200.0mm 倒壊家屋 (半壊、一部破損) 23 戸 浸水家屋 325 戸
平成 30 年 7 月 5 日 ～7 日 (7 月豪雨)	6 日 22:50 大雨特別警報発表 水 位 6.52m 総雨量 439.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊) 54 戸 浸水家屋 1,161 戸 負傷者 1 名 【雨量記録】 ■日最大 1 時間降水量 7 日 午前 1 時 00 分 60.0mm ■日降水量 7 日 199.0mm 歴代 2 位を記録 (統計開始 1976 年) ■日最大 10 分間降水量 7 日 23.0mm 歴代 3 位を記録 (統計開始 1976 年)
令和 5 年 8 月 14 日～15 日 (台風 7 号)	水 位 1.08m 総雨量 376.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊、準半壊) 18 戸 浸水家屋 (床上、床下) 101 戸

水防組織

水防本部の組織

- 1 水防本部は、市長を本部長、副市長を副本部長とし、組織は福知山市災害対策本部規程を準用し、水防本部組織図のとおりとする。
- 2 消防部は、消防本部および消防団本部をもって指揮班および情報班、消防署および消防団をもって消防（水防）班を編成し、各分団は水防中隊とする。
- 3 指揮班の任務
 - （1）災害情報の収集・活動状況の総括
 - （2）防災・水防信号の発令及び広報の指示
 - （3）消防団の非常招集及び活動の指示
 - （4）緊急消防援助隊等の消防広域応援の指示
- 4 情報班の任務
 - （1）災害情報の収集・活動状況の把握
 - （2）所管システムによる災害情報の伝達
 - （3）消防団の非常招集及び活動の調整
 - （4）緊急消防援助隊等の消防広域応援の調整
 - （5）部内の連絡調整
- 5 消防（水防）班の任務
 - （1）災害情報の収集・活動状況の把握
 - （2）防災・水防信号の発令及び広報の実施
 - （3）消防隊等の編成及び出動に関すること
 - （4）災害の場合における消防団の活動調整及び指示
 - （5）災害警戒の広報、避難情報の伝達
 - （6）避難者の誘導、避難所運営の支援
 - （7）人命救助並びに身体及び財産の保護
 - （8）遺体及び不明者の搜索
 - （9）消防関係通信の運用及び確保
 - （10）消防機材・水防資材点検整備
 - （11）消防関係施設の点検整備

〔水防本部組織図〕 (令和8年4月1日)





@FUKUCHIYAMA_CITY

福知山市



@FUKUCHIYAMA_CITY_FIRE_FIGHTER

福知山市
消防本部



@FUKUCHIYAMA_CITY_COLOR_GUARD

福知山市消防団
カラーガード隊



@FUKUCHIYAMA_CITY_FIRE_GUARD

福知山市消防団
ファイヤーガード隊

令和7年版 消防年報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町46番地の1
福知山市消防本部

TEL 0773-24-0119

FAX 0773-22-5458

URL <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/syoubou/>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.lg.jp

目 次

総 務

市 勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構、消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	13
消防職員の定員及び現在員数、消防職員の配置表	14
消防職員階級別年齢状況、勤続年数	15
事務分掌	16
消防相互応援協定の締結状況	18

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	19
消防水利の状況	20
救助活動のための機械器具等の保有状況	21

統 計

火災概要	23
累年火災比較（10年間）	24
署・分署別火災発生状況	25
消防団管内別火災発生状況1	26
消防団管内別火災発生状況2	27
月別火災発生状況	28
火災種別件数	29
曜日・時間別火災発生状況	30
曜日・時間別火災発生状況グラフ	31
気象別火災発生状況	32
火災原因別調べ	33
救急概要	34
署・分署別救急出動状況・搬送人員グラフ	35
月別救急活動状況	36
時間別事故種別搬送人員	37
年齢区分別事故種別搬送人員	38
傷病程度別性別事故種別搬送人員、年齢区分搬送人員	39
過去10年間における救急出動の推移	40
救急講習実施状況	41
救助概要	42

予 防

防火対象物の状況	43
建築同意事務指導別件数、業態別棟別件数	44
消防用設備等検査状況	45
危険物施設の状況	46
危険物申請の状況	47
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数、手数料徴収状況	47
火災予防条例等各種届出件数、立入検査実施状況	48
防火指導状況、広報活動状況	49
幼年消防クラブ活動状況、福知山市防災センター来館者状況	49

通 信

覚知別集計	50
月別指令状況	51
ドクターヘリ要請件数	51

消 防 団

消防団の沿革	52
消防団員・消防団車両配置表	57
年齢別消防団員数、在職年数別消防団員数	57

水 防

水防の概要	58
水防組織	61